

【第70年会講演プログラム】

この講演プログラムは7月26日現在のものです。

1. 口頭発表の講演時間は、一般講演15分（講演12分、討論3分）です。特別シンポジウム講演、テクノレビュー講演、および研究懇談会講演の講演時間は原則として1件30分（講演25分、討論5分）ですが、講演により異なります。
2. 講演の発表者（登壇者）に○印を付けています。
3. 講演番号の最初のアルファベットは会場名、次の「1」～「3」は第何日かを示します。
例：「C1001」は、C会場第1日目（9月22日）の1番目の講演です。
4. すべてのポスター発表の発表時間は60分です。一般講演ポスター発表（テクノレビュー講演を含む）は「P」、若手ポスター発表は「Y」と明記しています。また、3桁目は午前の発表が「0」、午後の発表が「1」です。テクノレビューポスター発表の末尾には「T」を付けています。
5. 本講演プログラムは講演申込者がオンライン登録したデータをそのまま掲載していますが、所属略称等は一部修正している場合があります。
6. 座長は交渉中を含みます。
7. 事情により講演プログラムを当日変更する場合があります。

【 A 会場 】

第1日（9月22日）

座長 上田 忠治

- A1001（9:30～9:45）ホウ素中性子捕捉療法用薬剤の有効性評価のためのボロン酸検出用蛍光センサーの開発（大医薬大薬¹・武庫女子大薬²）○高田 慎也¹・近藤 直哉¹・萩森 政頼²・天満 敬¹
- A1002（9:45～10:00）酵素増感反応を利用するキノンメチド型蛍光基質の白血病コンパニオン診断への適用（九大院システム生命¹・同仁化学²）○榊井 美咲¹・野口 克也²・下村 隆²・大内 雄也²・石山 宗孝²・志賀 匡宣²・上野 右一郎²・新居 輝樹¹・岸村 顕広¹・森 健¹・片山 佳樹¹
- A1003（10:00～10:15）配位不飽和サイトを有する多孔性配位高分子を用いるMRI造影剤の創製（東北大院環境¹・量研機構量医研²）中根 隆太¹・尾澤 芳和²・丸岡 尊子²・住吉 晃²・青木 伊知男²・○壹岐 伸彦¹
- A1004（10:15～10:30）マウス生体内蛍光イメージングを用いた脂質ドメインの探索（東大理）○上田 善文・小澤 岳昌
- 座長 天満 敬
- A1005（10:45～11:00）細胞膜表面でのカリウムイオンの蛍光イメージングを目的とした脂質修飾型PSOの開発と検討（九工大院工）○田村 瑠都・佐藤 しのぶ・竹中 繁織
- A1006（11:00～11:15）現場測定に適した電気化学的抗酸化力測定法の開発（高知大院総合人間自然科学¹・高知大農林海洋²・東北大多元研³）石田 裕基¹・山崎 直輝¹・大塚 祐李²・森 大地²・島村 智子²・長谷川 拓哉³・小河 脩平²・○上田 忠治²
- A1007（11:15～11:30）複合分離機構型イオンクロマトグラフィによる日本酒醸造過程で生じる微生物反応由来成分の同時分析法の開発（高知大理工¹・司牡丹²・中部大応生³）○小崎 大輔¹・浅野 徹²・山本 敦³・森 勝伸¹

座長 黒田 直敬

【奨励賞受賞講演】

- A1101（14:30～15:00）高感度化および高精度化を指向した誘導体化LCの開発と生体試料分析への応用（福岡大薬）○坂口 洋平
- 座長 西澤 精一
- A1102（15:15～15:30）単分子検出法による細胞中核酸アナログ分子解析（阪大産研）○大城 敬人・小本 祐貴・今野 雅允・浅井 歩・石井 秀始・谷口 正輝
- A1103（15:30～15:45）マイクロ流体デバイスによるスフェロイドへの血管形成と走査型電気化学顕微鏡を用いた酸素代謝測定（東北大院環境¹・東北大院工²・東北大学際研³）○向本 励¹・今泉 拓斗¹・梨本 裕司^{1,2,3}・伊野 浩介²・珠玖 仁^{1,2}
- A1104（15:45～16:00）ペルオキシダーゼ様活性を有する化合物の合成と過酸化水素の定量法への応用（三重大院工¹・三重大国際環境教育研究セ²）○横井 嶺¹・勝又 英之¹・古川 真衣¹・立石 一希²・金子 聡¹
- A1105（16:00～16:15）培養細胞の表層を反応場としたタンパク質間相互作用解析系の構築（九工大院・情報工）平野 一輝・橋本 透流・○末田 慎二
- 座長 大城 敬人
- A1106（16:30～16:45）両親媒性 α -helixペプチドを活用するエクソソームマーカーフリー蛍光検出（東北大院理）○桑原 和貴・最上 絢太・佐藤 雄介・西澤 精一
- A1107（16:45～17:00）細胞の代謝・機能計測に向けた電気化学発光システムの開発（東北大院環境¹・東北大院工²・東北大学際研³）○小松 慶佳¹・平本 薫¹・梨本 裕司^{2,3}・伊野 浩介²・珠玖 仁²
- A1108（17:00～17:15）生細胞上の複数種タンパク質の同時多色検出を可能にする糖加水分解酵素を用いた酵素増感法の開発（九大シス生¹・九大院工²・九大分子CMS³・九大未来化セ⁴）○立石 宙也¹・金子 諒右²・新居 輝樹^{1,2}・岸村 顕広^{1,2,3,4}・森 健^{1,2,4}・片山 佳樹^{1,2,3,4}
- A1109（17:15～17:30）抗メトトレキサートDNAアプタマーの分析試薬としての機能評価（東京大学¹・東芝²）○戸田 拓海¹・牧野 くるみ¹・杉崎 吉昭²・三木 弘子²・吉本 敬太郎¹
- #### 第2日（9月23日）
- 座長 座古 保
- A2001（9:00～9:15）リン酸基接合の電気伝導を利用した生体分子の単分子検出（東工大理）原島 崇徳・齋藤 誠悟・○西野 智昭
- A2002（9:15～9:30）フタホシコロギ（*Gryllus bimaculatus*）とアオイソメ（*Glycera dibranchiata*）の下顎における亜鉛濃集について（東大院農¹・東大院農²・東大定量研³・東大総合研究博物館⁴・東大総合研究博物館⁵・東大院創域⁶・東京電機大院工⁷・東大院農⁸）○Wataru Kashiwabara¹・Mayumi Iijima²・Lumi Negishi³・Yu Maekawa⁴・Takenori Sasaki⁵・Shinji Nagata⁶・Akiko Hokura⁷・Michio Suzuki⁸
- A2003（9:30～9:45）近赤外光作動型のゲノム遺伝子活性化システムの開発（KISTEC¹・東大総合文化²）○中嶋 隆浩^{1,2}・佐藤 守俊²

A2004 (9:45 ~ 10:00) Analysis of Akt signaling pathway using a molecule-specific Akt activation tool by an optogenetic approach (Sch. Sci. The Univ. Tokyo) ○Genki Kawamura・Takeaki Ozawa

座長 西野 智昭

A2005 (10:15 ~ 10:30) 蛍光団修飾ポリリジンを用いたパターン認識に基づく培養細胞の非破壊的評価 (産総研¹・筑波大数理物質²) ○菅井 祥加^{1,2}・富田 峻介¹・石原 紗綾夏¹・栗田 僚二^{1,2}

A2006 (10:30 ~ 10:45) 核酸の連鎖的鎖交換反応を利用した発光シグナルの増幅と血中循環腫瘍細胞の検出 (熊本大院先端¹・熊本大院生命²・オジックテクノロジーズ³) ○北村 裕介¹・阪元 駿平¹・中島 雄太¹・岩槻 政晃²・熊本 清太郎^{1,3}・安田 敬一郎³・勝田 陽介¹・馬場 秀夫²・中西 義孝¹・井原 敏博¹

A2007 (10:45 ~ 11:00) DNA固定化ナノ粒子を用いた核酸検出へ向けたナノ粒子及びDNA固定化条件の検討 (愛大・理・化¹・愛大・PROS²・理研³・愛大・工・応化⁴) ○平尾 元¹・矢野 湧暉¹・小川 敦司²・前田 瑞夫³・朝日 剛⁴・座古 保¹

A2008 (11:00 ~ 11:15) シクロデキストリン固定化DNA/フェロセン誘導体-混合単分子膜に基づく非標識DNAセンシング (産総研環境創生) ○青木 寛

第3日 (9月24日)

座長 北村 裕介

A3001 (9:30 ~ 9:45) 4本鎖DNAに対する環状ナフタレンジイミドのリンカー効果 (九工大院工) ○池田 匠・佐藤 しのぶ・竹中 繁織

A3002 (9:45 ~ 10:00) ウイルス四本鎖RNA特異的分子の開発と分析化学的応用 (九工大院工) ○真野 航太・佐藤 しのぶ・竹中 繁織

A3003 (10:00 ~ 10:15) 電気化学的手法用によるSARS-CoV-2関連酵素(3CL)の活性評価を目的とした検出法の確立 (九工大院工) ○松田 航希・佐藤 しのぶ・竹中 繁織

座長 小澤 岳昌

A3004 (10:30 ~ 10:45) 抗EpCAMアプタマー修飾金フィルターを用いた血中循環腫瘍細胞の捕捉 (熊本大院先端¹・オジックテクノロジーズ²・熊本大院生命³) ○林 榛菜¹・北村 裕介¹・熊本 清太郎²・中島 雄太¹・岩槻 政晃³・安田 敬一郎²・勝田 陽介¹・中西 義孝¹・馬場 秀夫³・井原 敏博¹

A3005 (10:45 ~ 11:00) G4クラスター選択的結合分子の合成とその相互作用解析 (九工大院工) ○小野 健太郎・佐藤 しのぶ・竹中 繁織

A3006 (11:00 ~ 11:15) アミノ末端を有する環状ナフタレンジイミドを用いた二本鎖DNAの電極固定化と電気化学的検出法の開発 (九工大院工) ○廣岡 雄太・佐藤 しのぶ・竹中 繁織

座長 吉本 敬太郎

A3101 (14:30 ~ 14:45) 金属錯体を導入したナフタレンジイミド誘導体の合成と4本鎖DNAとの相互作用解析 (九工大院工) ○中川 清彦・佐藤 しのぶ・竹中 繁織

A3102 (14:45 ~ 15:00) グuanin 4本鎖DNAダイマーのCleft結合リガンドとしての環状ビスナフタレンジイミドの合成 (九工大院工) ○村上 駿・佐藤 しのぶ・竹中 繁織

A3103 (15:00 ~ 15:15) 光機能性キャップド抗体による受容体タンパク質活性の光制御 (東大院理) ○遠藤 瑞己・小澤 岳昌

座長 佐藤 しのぶ

A3104 (15:30 ~ 15:45) Artificial control of insulin signalling in mice liver using optogenetic system (東大院理) ○Qi Dong・Mizuki Endo・Takeaki Ozawa

A3105 (15:45 ~ 16:00) 微粒子支援型キャピラリー電気泳動を用いたタンパク質-低分子間相互作用の分離能評価 (東大院総合) ○大河内 遼・長野 正展・吉本 敬太郎

A3106 (16:00 ~ 16:15) 新規マルチ蛍光タンパク質2種類, Alc-OrangeとLS-Redの分光学的相違 (福大・理¹・長崎国際大・薬²・福工大³・黒潮生物研⁴) ○KATOU, Yuuko^{1,2}・Yoshida, Kogi¹・Ohba, Yoshifumi²・Fujimoto, Ikki³・Imahara, Yukimitsu⁴・Nakachi, Shu⁴・Nakashima, Kenichiro²・Yamaguchi, Toshio¹

【 B 会 場 】

第1日 (9月22日)

座長 加賀谷 重浩

B1001 (9:30 ~ 9:45) ポリエチレンイミンを被覆したHILIC型固相抽出剤の高機能化に関する基礎検討 (愛知工大¹・岐阜薬大²) ○飯田 圭祐¹・江坂 幸宏²・井上 嘉則¹・村上 博哉¹・手嶋 紀雄¹

B1002 (9:45 ~ 10:00) 親水性高分子を被覆した新奇逆相系固相抽出剤の開発 (愛知工大¹・岐阜薬大²) ○横井 亮祐¹・三木 雄太¹・江坂 幸宏²・井上 嘉則¹・村上 博哉¹・手嶋 紀雄¹

座長 向井 浩

B1003 (10:00 ~ 10:15) *In situ* イオン液体生成を利用した水中の微量銅(II)コロイド種の分離濃縮と吸光光度法による定量分析 (千葉大院融合理工学府¹・千葉大院理²) ○宮本 優子¹・中村 俊裕¹・勝田 正一²

B1004 (10:15 ~ 10:30) シリンジフィルターを用いる水中微量カドミウムの選択的抽出/簡易比色定量 (共立理化学研) ○村居 景太・大森 寛子・岡内 俊太郎

B1005 (10:30 ~ 10:45) 放射性Gaイオンのターゲットからのインライン分離 (熊本大院先端¹・高知大学院理工²・量研高崎³) ○大平 慎一¹・宮地 凌摩¹・小畑 翔平¹・真鍋 日那子²・丸山 洋平²・須郷 由美³・石岡 典子³・森 勝伸²・戸田 敬¹

座長 鈴木 康弘

【技術功績賞受賞講演】

B1006 (11:00 ~ 11:30) 溶媒抽出、イオン交換の研究、および工業材料分析の研究開発 (日産アーク) ○野呂 純二

座長 橋本 剛

B1101 (14:30 ~ 14:45) 蛍光性フェナントロリンジカルボン酸誘導体を用いる放射性廃棄物中Np(V)O₂⁺の電気泳動検出とその解離反応速度論 (埼玉大院理工¹・原子力機構²) ○山縣 和仁¹・大内 和希²・半田 友衣子¹・原賀 智子²・齋藤 伸吾¹

B1102 (14:45 ~ 15:00) シッフ塩基の多様な配位能を利用する結晶化によるネオジムとディスプロシウムの分離 (東北大院環境) ○鈴木 敦子・細堀 浩司・安部 佑美佳・唐島田 龍之介・壹岐 伸彦

B1103 (15:00 ~ 15:15) Quick and Mild Isolation of Intact Lysosomes using Magnetic-Plasmonic Hybrid Nanoparticles (JAIST¹・Tohoku U.²) ○The Son Le¹・高橋 麻里¹・平塚 祐一¹・松村 和明¹・田口 友彦²・前之園 信也¹

B1104 (15:15～15:30) 金属クルクミン誘導体：タンパク質との特異的相互作用とメタクロマジー (山口大院創成科学¹・山口大学 光・エネルギー研究セ²) ○今村 美那¹・安達 健太^{1,2}
座長 森 勝伸

【イオンクロマトグラフィー研究懇談会】

B1105 (15:45～16:15) 燃焼-イオンクロマトグラフ装置を用いた固体試料中のハロゲンの分析 (高知工技セ) ○隅田 隆

第2日 (9月23日)

座長 安達 健太

B2001 (9:30～9:45) 電荷移動錯体でのメカノストレス・センシング機能向上に向けた材料設計 (早大院先進理工¹・東医歯大生材研²・広大院工³) ○土戸 優志¹・伊藤 成輝¹・山中 凌大¹・中島 英和¹・飯谷 健太^{1,2}・今任 景一^{1,3}・武田 直也¹

B2002 (9:45～10:00) エンドトキシン認識機能を有する新規蛍光プローブの開発 (上智大理工¹・野村マイクロサイエンス²) ○木本 洋^{1,2}・飯山 真充²・橋本 剛¹・早下 隆士¹

B2003 (10:00～10:15) ダンシル修飾フェニルボロン酸デンドリマーを用いた高感度細菌検出法の開発 (上智大理工¹・早大先進理工²) ○三ヶ木 彩芽¹・鶴房 莉帆¹・土戸 優志²・橋本 剛¹・早下 隆士¹

B2004 (10:15～10:30) オリゴ糖の長波長蛍光認識を指向したジボロン酸修飾スクアリリウム色素の開発と平衡解析 (埼玉大院理工¹・大阪府立大院工²) ○佐々木 佑真¹・丸橋 緑¹・半田 友衣子¹・渋谷 雅美¹・前田 壮志²・齋藤 伸吾¹

座長 片山 佳樹

【分析試薬研究懇談会】

B2005 (10:45～11:15) 生細胞RNAイメージング・検出プローブの開発 (東北大院理) ○西澤 精一

【 C 会 場 】

第1日 (9月22日)

座長 癸生川 陽子

C1001 (9:30～9:45) 増感化学発光法による深海の硫化水素分析法の高感度化 (阪工大工¹・紀本電子工業²・高知大³) ○藤森 啓一¹・林 哲也¹・阪本 旭¹・辻本 賢太¹・平原 将也¹・森内 隆代¹・植田 正人²・鈴江 崇彦²・紀本 英志²・岡村 慶³

C1002 (9:45～10:00) 外洋におけるパラジウム分析法の開発と分布解明 (金沢大理工¹・東大大海研²) ○眞塩 麻彩実¹・市村 亮人¹・山岸 はるか¹・黄 国宏¹・小畑 元²・長谷川 浩¹

座長 藤森 啓一

C1003 (10:00～10:15) 模擬星間物質への陽子線照射生成物中の核酸塩基・糖の分析 (横浜国大¹・東工大²) ○小林 憲正¹・菅谷 ことみ¹・安部 隼平¹・菊地 智紀¹・福田 一志²・小栗 慶之²・依田 功²・癸生川 陽子¹

C1004 (10:15～10:30) 水圏環境におけるパラジウム、白金、金の分析法の開発 (京大化研) ○岩瀬 海里・磯部 滉太・宗林 由樹

C1005 (10:30～10:45) 河川水中人為起源Gd化合物の化学形態の解明 (関学大理工¹・理研SPRING²・産総研計量標準³) ○河根 怜央奈¹・亀本 雄基¹・岡林 識起¹・岩井 貴弘²・成川 知弘³・壺井 基裕¹・千葉 光一¹

座長 金田 隆

C1101 (14:30～14:45) キャピラリー分子ふるい電気泳動に基づく低分子標的構造誘起型アプタマー選抜法 (阪府大院工¹・JST さきがけ²) ○末吉 健志^{1,2}・和田 将英¹・遠藤 達郎¹・久本 秀明¹

C1102 (14:45～15:00) キャピラリー電気泳動法を用いたアルカンジチオールによる金ナノ粒子二量体形成の観察 (徳島大院創成科学¹・産総研²・徳島大院社会産業理工³) ○三宅 晃嗣¹・岡部 浩隆²・松田 直樹²・水口 仁志³・高柳 俊夫³

C1103 (15:00～15:15) 等電点電気泳動分離・溶出されたリゾチーム超分子の機能制御法の検討 (愛媛大理) ○島崎 洋次・塚野 鈴・藪 隼大

座長 石濱 泰

【電気泳動分析研究懇談会】

C1104 (15:15～15:45) CE-MSを用いたメタボローム解析の現状とこれから (慶大・先端生命研) ○平山 明由

座長 植田 郁生

C1105 (16:00～16:15) 微量血清中のEPAおよびDHAを高感度に選択検出するための反応熱脱着GC法の開発 (中部大応生¹・ワールドインテックR&D事業部²・金城学院大薬³・フロンティア・ラボ⁴) ○石田 康行¹・相場 天音¹・古田 汐里²・宮澤 大介³・渡辺 壱⁴

C1106 (16:15～16:30) ヘッドスペースガスクロマトグラフィー質量分析計を用いた廃棄物焼却処理過程

における有機物質の動態解析法及び低減法 (京工織大院工芸¹・島津製作所²) ○金田 翔¹・佐々木 貴都¹・初 雪^{1,2}・布施 泰朗¹

座長 佐藤 博

【ガスクロマトグラフィー研究懇談会】

C1107 (16:30～17:00) メタボロミクスにおけるGCMSの活用 (阪大院工) ○古野 正浩

第2日 (9月23日)

座長 森 勝伸

C2001 (9:30～9:45) 硝酸イオンの還元蒸留-FIインドフェノール青吸光度法における小型蒸留装置の利用 (愛知工大¹・日東精工アナリティック²) ○林 愛美¹・大野 慎介²・村上 博哉¹・林 則夫²・手嶋 紀雄¹

C2002 (9:45～10:00) ホルムアルデヒドの同時注入迅速混合フロー蛍光分析 (愛知工大) ○長谷川 拓美・平野 裕誠・長澤 祐希・西上 和馬・恒川 香菜・村上 博哉・手嶋 紀雄

C2003 (10:00～10:15) アルミナ多孔体のリン酸イオンに対する固相抽出特性の評価 (愛知工大) ○林 万祐菜・橋本 明里・三木 雄太・村上 博哉・井上 嘉則・手嶋 紀雄

座長 手嶋 紀雄

C2004 (10:15～10:30) イオン選択性電極検出器を用いるシーケンシャルインジェクション法によるプチリルコリンエステラーゼの定量 (芝浦工大) 小泉 成正・中野 桂太・○正留 隆

C2005 (10:30～10:45) プロトン移動反応を利用したフローインジェクション分析に基づくヨウ化物イオンとフッ化物イオンの同時定量 (名工大院工¹・名工大工²) ○高橋 佑未香¹・酒井 美帆²・安井 孝志¹

座長 大平 慎一

【フローインジェクション分析研究懇談会】

C2006 (11:00～11:30) 流れ分析と分離分析を組合せた水及び土壌中の有機・無機成分の分析法の研究 (高知大理工) ○森勝伸

第3日 (9月24日)

座長 江坂 幸宏

C3001 (9:30～9:45) 周波数分割多重化法を応用した新規マルチプレックス6LC-IMSの開発 (名工大院工) ○先田 廉・札谷実穂・北川 慎也・大谷 肇

C3002 (9:45～10:00) 卵殻を母体とした分取クロマトグラフィー (慶大理工) ○蛭田 勇樹・吉井 智夏・持田 麻衣・海洋光儀・今井 宏明・Citterio Daniel

C3003 (10:00～10:15) 非対称流れ流動場分離(AF4)-ICP-MSによるナノ粒子の定量分析法の開発 (日本製鉄先端研¹・日鉄テクノロジー²) ○板橋 大輔¹・水上 和実²

座長 中村 洋

【液体クロマトグラフィー研究懇談会】

C3004 (10:15～10:45) 水処理におけるクロマトグラフィー分析技術の活用 (栗田工業) ○榎本 幹司

座長 森 勝伸

【イオンクロマトグラフィー研究懇談会】

C3005 (11:00～11:30) キャピラリー ICにおけるモノリス型イオン交換固定相のワンポット調製 (岐阜大工) ○Lim, Lee Wah

座長 半田 友衣子

C3101 (14:30～14:45) 化学結合を利用した吸着剤粒子の成形技術の開発 (愛知工大¹・東薬大²・岐阜薬大³) ○三木 雄太¹・村上 博哉¹・後藤 万凜¹・梅村 知也²・江坂 幸宏³・井上 嘉則¹・手嶋 紀雄¹

C3102 (14:45～15:00) Poly(butylene terephthalate)およびPoly(4-vinylpyridine)固定相を用いたLCにおける芳香族化合物の分子形状認識 (豊橋技科大工¹・山梨大工²) ○中神 光喜¹・隅谷 王士郎¹・植田 郁生²・齊戸 美弘¹

C3103 (15:00～15:15) DNA付加体のLC/MS/MS分析法構築-プリン塩基形態での分析- (岐阜薬大¹・岐阜大院連合創薬²・愛知工大³) 吉川 一輝¹・西山 悠太¹・高須 蒼生¹・山本 拓平^{1,2}・村上 博哉³・江坂 幸宏^{1,2}

座長 蛭田 勇樹

C3104 (15:30～15:45) 液体クロマトグラフィーを用いるTBABセミクラスレートハイドレート固定相への物質保持機構の評価 (埼玉大院理工) ○半田 友衣子・渋川 雅美・齋藤 伸吾

C3105 (15:45～16:00) 表面気泡変調液体クロマトグラフィーによる気体の分離分析-C18シリカおよびシリカ粒子の混合充填カラムによるカラム効率の改善- (埼玉大院理工¹・CERI²) ○渋川 雅美¹・中野 裕太²・齋藤 伸吾¹

C3106 (16:00～16:15) 液体クロマトグラフィー/イオンモビリティ-質量分析による低分子量生体分子の一斉分析法の開発 (富山県大工医薬¹・金沢大²) ○山川 舞¹・唐島 成宙²・大坂 一生¹

【 D 会 場 】

第1日 (9月22日)

座長 山本 雅博

D1001 (9:45～10:00) ピリジン溶液を用いた酸素修飾グラファイト状窒化炭素による光触媒性水素生成効率の向上研究 (三重大院工¹・三重大国際環境教育研究セ²) ○桑原 周平¹・立石 一希²・勝又 英之¹・古川 真衣¹・金子 聡¹

D1002 (10:00～10:15) 可視光応答性Cd_{0.5}Zn_{0.5}Sを用いた光触媒的水素生成法の開発 (三重大院工¹・三重大国際環境教育研究セ²) ○矢野 有紗¹・勝又 英之¹・古川 真衣¹・立石 一希²・金子 聡¹

D1003 (10:15～10:30) ナノ構造形成のための急速酸化反応条件の検討 (三重大院工¹・三重大国際環境教育研究セ²) ○菅沼 康太¹・小塩 明¹・古川 真衣¹・立石 一希²・勝又 英之¹・金子 聡^{1,2}

D1004 (10:30～10:45) Ag/Ag₂O/ZnOによる水溶液中フタル酸ジブチルの光触媒的分解 (三重大院工¹・三重大国際環境教育研究セ²) ○杉浦 恵里紗¹・古川 真衣¹・立石 一希²・勝又 英之¹・金子 聡^{1,2}

座長 丹羽 修

D1101 (14:30～14:45) CuWO₄でのメチレンブルーの光触媒性分解 (三重大院工¹・三重大国際環境研究センター²) ○高木 雅也¹・立石 一希²・古川 真衣¹・勝又 英之¹・金子 聡^{1,2}

D1102 (14:45～15:00) Sn系光触媒による可視光照射下での染料脱色 (三重大院工¹・三重大国際環境教育研究セ²) ○岩本 大地¹・古川 真衣¹・勝又 英之¹・立石 一希²・金子 聡^{1,2}

座長 大谷 肇

【奨励賞受賞講演】

D1103 (15:15～15:45) 溶液NMRを用いたポリ乳酸のキャラクタリゼーション (帝人) ○菅沼 こと

座長 藤野 竜也

D1104 (15:45～16:00) 異なる可塑剤で作製した軟質塩ビのパルス法NMRを用いた物性評価 (阪工大工¹・兵庫県大院工²) ○関口 ゆりあ¹・浦濱 圭彬²・平原 将也¹・藤森 啓一¹・森内 隆代¹

D1105 (16:00～16:15) 熱分解分析法によるアルミナ共存下におけるシランカップリング剤の反応解析 (名工大¹・住友電気工業²) ○村松 知沙子¹・大谷 肇¹・徳田 千明²・土子 哲²

D1106 (16:15～16:30) レーザー脱離イオン化質量分析法によるパーフルオロポリエーテルの構造解析 (名工大院工) ○三枝 和真・大谷 肇

D1107 (16:30～16:45) 熱分解GC/MSシステムを用いたABS樹脂成型品の不良品解析 (フロンティア・ラボ¹・東北大²) ○塩野 愛¹・押野 博二¹・渡辺 壱^{1,2}・寺前 紀夫^{1,2}・渡辺 忠一¹

座長 香川 信之

【高分子分析研究懇談会】

D1108 (17:00～17:30) 産総研における高分子材料分析の取り組み～材料診断プラットフォーム～ (産総研) ○新澤 英之

第2日 (9月23日)

座長 南 豪

D2001 (9:00～9:15) マルチパルスボルタンメトリーによる透析排液中尿酸の定量 ((株)カイジョー¹・信州大理²) ○中山 雅之¹・若宮 雅紀¹・副島 潤一郎¹・ZHANG, QIRAN²・金 継業²

D2002 (9:15 ~ 9:30) 凝固カスケード反応によるシグナル増幅システムを有する高感度電気化学イムノアッセイ (東北大院環境¹・山梨大院工²・東北大イノベーションセンター³・東北大院工⁴)
○伊藤 健太郎¹・井上(安田) 久美^{1,2}・末永 智一³・珠玖 仁⁴

D2003 (9:30 ~ 9:45) Enhancing the Sensitivity of Lateral Flow Immunoassay by Magnetic Enrichment Using Multifunctional Nanocomposite Probes (JAIST¹・Nippon Steel Chemical & Material²)
○Mari Takahashi¹・The Son Le¹・He Sizun¹・Yasushi Enomoto²・Yasufumi Matsumura²・Shinya Menosono¹

D2004 (9:45 ~ 10:00) Dual-excitation in-lab-made device based on handy UV lamp and GQDs-modified PADs for simultaneous determination of acetaminophen and its endocrine disrupting impurity 4-nitrophenol (Department of Pharmaceutical Analytical Chemistry, Faculty of Pharmacy, Mansoura University, Egypt)
○Rania El-Shaheny

座長 珠玖 仁

D2005 (10:15 ~ 10:30) フォトリソグラフィーによるライン型マルチイオンイメージセンサの作製 (豊橋技科大)
○Hattori, Toshiaki・Kawasaki, Kengo・Noda, Toshihiko・Kato, Ryo・Sawada, Kazuaki

D2006 (10:30 ~ 10:45) Development of a polythiophene-based chemosensor array for on-site sake (Japanese rice wine) tasting (東大生研)
○Xiaojun Lyu・Tsuyoshi Minami

D2007 (10:45 ~ 11:00) 生体分子を標的とした化学センサー構築のための角度依存性のない構造発色性ゲルの調製 (富山大院理工(工))
○池戸 祐太郎・菅野 憲・遠田 浩司

座長 安川 智之

【化学センサー研究懇談会】

D2008 (11:00 ~ 11:30) 植物栄養成分のセンサーの開発 (京大院農)
○白井 理

第3日 (9月24日)

座長 山口 央

D3001 (9:30 ~ 9:45) 静水圧で制御可能な感圧応答化学センサーの構築 (東工大理¹・JST-さきがけ²)
○木下 智和¹・福原 学^{1,2}

D3002 (9:45 ~ 10:00) シクロデキストリン修飾ポリフルオレンによるペプチドセンシングとその機構解明 (東工大理¹・JST-さきがけ²)
○西 玲哉¹・福原 学^{1,2}

D3003 (10:00 ~ 10:15) ランタノイドアップコンバージョンナノ粒子(UCNPs)に基づく近赤外発光グルコースセンサの開発 (富山大院理工(工))
○草島 佳紀・原田 大輔・菅野 憲・遠田 浩司

D3004 (10:15 ~ 10:30) 皮下埋め込み型血糖値センサ用レセプター感受性近赤外吸収azaBODIPY色素の開発 (富山大院理工(工))
○水上 泰斗・菅野 憲・遠田 浩司

座長 壹岐 伸彦

【技術功績賞受賞講演】

D3005 (10:45 ~ 11:15) スラブ光導波路分光法による吸収スペクトルその場測定法の開発と固液界面における分子固定割合計測 (産総研)
○松田 直樹

座長 福原 学

D3101 (14:30 ~ 14:45) 光リセット機能を有するオプティカルグルコースセンシングフィルムの開発 (富山大院理工(工))
○本山 祐・菅野 憲・遠田 浩司

D3102 (14:45 ~ 15:00) 金蒸着角型ガラス棒SPRセンサーにおける選択性付与に関する基礎研究 (鹿児島大院理工¹・鹿児島大工²)
○満塩 勝¹・平田 勇輝²・安永 愛萌²・吉留 俊史¹

D3103 (15:00 ~ 15:15) 金蒸着角型ガラス棒SPRセンサーにおけるシリコーンゴムシートによる温度補正 (鹿児島大院理工)
○宮原 晶宏・満塩 勝・吉留 俊史

D3104 (15:15 ~ 15:30) 液体クロマトグラフィーでの分離媒体への応用を狙いとする陽極酸化アルミナ透過薄膜の作製 (富山衛研¹・茨城大²)
○山下 智富¹・村元 達也¹・山口 央²

座長 満塩 勝

D3105 (15:45 ~ 16:00) 外耳道におけるバイオ蛍光スニファによる経皮ガス連続計測 (医科歯科大生材研) 鈴木 翔太・石川 力・飯谷 健太・菅野 浩司・荒川 貴博・三林 浩二

D3106 (16:00 ~ 16:15) 人工抗体を搭載したマイクロ材料の開発と結合性の評価 (阪府大工¹・GreenChem. Inc²)
○孫 衛益¹・西井 僚¹・西井 成樹¹・山本 陽二郎²・定永 靖宗¹・椎木 弘¹

D3107 (16:15 ~ 16:30) 抗菌薬刺激細菌の単一センシングによる電気的耐性識別 (名大院工¹・名大未来社会²・JSTさきがけ³・東大院工⁴・阪大産研⁵・九大先端研⁶・QST量子生命⁷)
吉川 碧海¹・嶋田 泰佑¹・安井 隆雄^{1,2,3}・長島 一樹^{3,4}・山崎 聖司⁵・西野 邦彦⁵・柳田 剛^{4,6}・馬場 嘉信^{1,2,7}

【 E 会 場 】

第1日 (9月22日)

座長 青木 寛

E1001 (9:30 ~ 9:45) Pdナノ粒子と犠牲鋳型から室温融合により作製した多孔性Pd構造体の触媒性能の評価 (和歌山大システム工¹・大阪技術研²)
○岡田 宗一郎¹・中原 佳夫¹・渡辺 充²・玉井 聡行²・矢嶋 摂子¹

E1002 (9:45 ~ 10:00) 高分子溶液に分散したコバルトフェライトナノ粒子の振動磁場配向挙動 (阪大院理)
○諏訪 雅頼・東 條 友紀・塚原 聡

E1003 (10:00 ~ 10:15) ジチゾンナノ薄膜試験紙を用いた微量銀の検出 (長岡技科大院工¹・東洋濾紙²)
○堰代 大智¹・小野 寺 正孝²・山田 佳林²・高橋 由紀子¹

座長 中原 佳夫

E1004 (10:30 ~ 10:45) 超音波-重力複合場中のガラス基板固定粒子の解離挙動に基づくDNAセンシング (筑波大学理工¹・筑波大学数理物質²)
○押山 健悟¹・宮川 晃尚²・長友 重紀²・中谷 清治²

E1005 (10:45 ~ 11:00) 蛍光色素の蛍光強度変化に基づく *in situ* マイクロプラスチック分析 (産総研環境創生)
○青木 寛・鳥村 政基・羽部 浩

E1006 (11:00 ~ 11:15) 河川から単離した *Pseudomonas* sp. による鉛濃集とナノ化機構の解明 (東大院農¹・東大定量研²・東大微生物連携機構³)
○加藤 由悟¹・根岸 瑠美²・鈴木 道生^{1,3}

座長 中谷 清治

E1101 (14:30 ~ 14:45) 空中浮遊単一エアロゾル液滴における液滴粘度のサイズ依存性の顕微分光分析 (北大院理¹・北大院総化²・豊田理研³) ○三浦 篤志^{1,2}・安部 彩夏²・中島 僚介²・李 桐²・喜多村 昇^{1,3}

E1102 (14:45 ~ 15:00) 磁気配向線二色性分光法による磁性ナノ粒子の凝集初期過程の測定 (阪大 I N S D) ○渡會 仁

座長 前田 耕治

【奨励賞受賞講演】

E1103 (15:00 ~ 15:30) 自然乳化を利用した微量試料前処理操作の開発 (東北大多元研) ○福山 真央

座長 山口 央

E1104 (15:45 ~ 16:00) 分子クラウディング環境のオキシゲン錯形成定数への影響 (筑波大院数理物質¹・筑波大数理物質²) ○小松 弘幸¹・宮川 晃尚²・長友 重紀²・中谷 清治²

E1105 (16:00 ~ 16:15) PAMAMデンドリマー共存下の液液界面におけるミトキサントロンのイオン移動反応挙動 (金沢大院自然) ○真下 隆都・西山 嘉男・永谷 広久

E1106 (16:15 ~ 16:30) 巨大リポソームの膜特性解析と相状態の制御に関する研究 (阪大院基礎工) ○岡本 行広・蓮沼 陽一郎

座長 宮川 晃尚

E1107 (16:30 ~ 16:45) 小角中性子散乱を用いたナノ細孔内タンパク質パッキング状態の観察 (茨城大量子線科学¹・CROSS²) ○會澤 茉弥¹・岩瀬 裕希²・山口 央¹

E1108 (16:45 ~ 17:00) 界面活性剤ミセル界面における物質透過現象の部分注入キャピラリー電気泳動法による速度論的解析 (立教大理) ○宮部 寛志・中島 茉莉

E1109 (17:00 ~ 17:15) 液液界面におけるテトラサイクリン系抗生物質の分光電気化学解析 (金沢大院自然) ○山村 康志郎・西山 嘉男・永谷 広久

第2日 (9月23日)

座長 永谷 広久

E2001 (9:00 ~ 9:15) 水面自己駆動しょうのうシートの運動分岐 (千葉大院工¹・明大総合数理学²) ○藤浪 真紀¹・若佐 怜慧¹・高山 壮太¹・野本 知理¹・Chiari, Luca¹・末松 信彦²

E2002 (9:15 ~ 9:30) イオン液体/水界面を反応場とした酸化還元反応による金ナノファイバー/CNT1D/1Dコンポジットの作製 (京大院工) ○神谷 一平・作花 哲夫・西 直哉

E2003 (9:30 ~ 9:45) Kinetic analysis of water transport to reverse micelle in droplet microfluidics (Tohoku University) ○Piangrawee Santivongskul・Mao Fukuyama・Akihide Hibara

座長 藤浪 真紀

E2004 (9:45 ~ 10:00) イオン液体/油界面における共有結合性有機構造体の界面重合 (京大院工) ○松本 光平・作花 哲夫・西 直哉

E2005 (10:00 ~ 10:15) 微小油滴/硝酸溶液系におけるユウロピウムの抽出・逆抽出速度の硝酸イオン及びリン酸トリブチル濃度依存性 (筑波大数理物質¹・日本原子力研究開発機構²) ○草野 祐香¹・宮川 晃尚¹・長友 重紀¹・中谷 清治¹・佐野 雄一²

座長 火原 彰秀

【奨励賞受賞講演】

E2006 (10:30 ~ 11:00) 相分離により生じたマイクロ構造を利用した分離計測手法の確立と界面物性の解明 (宇都宮大工) ○稲川 有徳

座長 塚原 聡

【溶液界面研究懇談会】

E2007 (11:00 ~ 11:30) 固体微粒子が吸着した液体界面の性質: 粒子間相互作用、表面張力、および界面構造 (京大工) ○作花 哲夫

第3日 (9月24日)

座長 藤井 健太

E3001 (9:30 ~ 9:45) 正極不溶型リチウム-硫黄電池正極材料の単粒子電気化学測定 (新潟大院自然¹・東京理科大理工²・物材機構³・工学院大先進工⁴・横浜国大IAS⁵・横浜国大院工⁶) ○川名 結衣¹・荒井 奈々¹・渡辺 日香里²・韓 智海¹・西川 慶³・関 志朗⁴・都築 誠二⁵・上野 和英⁶・獨古 薫⁶・渡邊 正義⁵・梅林 泰宏¹

E3002 (9:45 ~ 10:00) スルホラン系溶媒和溶融リチウム塩の双極子再配向ダイナミクスとLi⁺ スペシエーション (新潟大院自然¹・新潟大理²・横浜国大IAS³・横浜国大院工⁴・東京理科大理工⁵) ○弓削 眞子¹・荒井 奈々¹・佐久間 有紀²・都築 誠二³・上野 和英⁴・渡邊 正義³・獨古 薫⁴・渡辺 日香里⁵・韓 智海¹・梅林 泰宏¹

E3003 (10:00 ~ 10:15) ギガパスカル圧力下の塩化セリウム(Ⅲ)水溶液中のイオン溶媒和・会合および溶媒水の構造 (福岡大理¹・量研²) ○山口 敏男¹・福山 菜美¹・吉田 亨次¹・片山 芳則²

E3004 (10:15 ~ 10:30) ジペプチドLeu-Glyの会合体形成に対するアルコールクラスターの影響 (佐賀大理工¹・佐賀大院工²・同志社大生命医³・熊本高専⁴・総合科学研究機構⁵) ○高椋 利幸¹・藤 貴弘²・坂本 祐介¹・貞包 浩一朗³・松上 優⁴・岩瀬 裕希⁵

座長 梅林 泰宏

E3101 (14:30 ~ 14:45) ケトエステル系超濃厚電解液の溶液構造解析: 分子コンフォメーション変化とイオン秩序構造形成 (山口大院創成¹・横浜国大院工²) ○江原 寧々¹・上野 和英²・藤井 健太¹

E3102 (14:45 ~ 15:00) 高濃度リチウム塩水溶液のイオン間相互作用と水和構造に及ぼすアニオン種の影響 (神戸大環境保全推進センター¹・神戸大工²・神戸大院工³・ヤゲヴォ大⁴) ○牧秀志^{1,3}・松田 玲依²・水畑 穰^{3,4}

E3103 (15:00 ~ 15:15) ¹H NMRの信号強度に与えるナトリウムイオンの溶媒和構造の影響 (神戸大院工¹・神戸大工²・神戸大環境保全推進センター³・ヤゲヴォ大⁴) ○高 瑛徹¹・元平 ゆき奈²・牧 秀志^{1,3}・水畑 穰^{1,4}

座長 高椋 利幸

E3104 (15:30 ~ 15:45) 超濃厚リチウム塩プロピレンカーボネート溶液の誘電緩和分光と振動分光 (新潟大理¹・新潟大院自然²・工学院大先進工³・横浜国大院工⁴・横浜国大IAS⁵・東京理科大理工⁶) ○佐久間 有紀¹・弓削 眞子²・川名 結衣²・関 志朗³・上野 和英⁴・都築 誠二⁵・獨古 薫⁴・渡邊 正義⁵・渡辺 日香里⁶・韓 智海²・梅林 泰宏²

E3105 (15:45～16:00) 種々の非水溶媒中における $Al^{3+}-Cl$ 錯体生成反応に関する振動分光測定および分子軌道計算(新潟大理¹・新潟大院自然²・山口大学³・京都大学⁴) ○永島 結¹・川名 結衣²・弓削 眞子²・藤井 健太³・北田 敦⁴・邑瀬 邦明⁴・韓智海²・梅林 泰宏²

【 F 会場 】

第1日 (9月22日)

座長 北川 慎也

F1001 (9:45～10:00) 17O NMR測定による17O₂濃縮ガスを用いた低温酸化処理石炭に生成した酸素官能基の観測(日本製鉄先端研¹・日鉄テクノロジー²・日鉄総研³・名大院工⁴) ○畑友輝^{1,4}・高橋 貴文¹・金橋 康二²・齋藤 公児³・則永 行庸⁴

F1002 (10:00～10:15) ジアリアルエテン骨格を有する蓄熱性低分子の冷結晶化と光物性の解析(東理大理) ○本田 暁紀・藤原 功基・上野 那智・増原 寛文・宮村 一夫

F1003 (10:15～10:30) 紫外可視吸収スペクトルの統計解析による単繊維の異同識別法の検討(科警研¹・広島大情報科学²・広島大院先進理工³) ○板宮 裕実¹・小田 凌也²・柳原 宏和³・柘 浩一郎¹・笠松 正昭¹

F1004 (10:30～10:45) 医薬品品質管理へのデータサイエンスの応用: 製剤の定量高値の原因究明(アステラス製薬¹・Astellas US Technologies, Inc.²) ○片井 寛明¹・阿形 泰義²・高橋 夏樹¹・元永 圭¹

座長 藤井 麻樹子

F1101 (14:30～14:45) レーザーアブレーション試料導入法と大気圧プラズマイオン化法を組み合わせた有機分子のイメージング法の開発(東大理¹・バイオクロマト²・ユーロフィン³) ○Khoo, Hui Hsin¹・島田 治男²・宮原 秀一¹・金森 貴宏³・一戸 佳祐³・平田 岳史¹

F1102 (14:45～15:00) MSスペクトルの周波数解析に基づく合成高分子解析手法の開発(名工大院工¹・三菱ケミカル²) ○尾関 優香¹・北川 慎也¹・大谷 肇¹・近藤 洋輔²・品田 弘子²

F1103 (15:00～15:15) 金属ナノ粒子を利用した異性体の質量分析法の開発(東洋大理工) ○Jiawei Xu・Tatsuya Fujino

F1104 (15:15～15:30) 走査型プローブエレクトロスプレーイオン化法による疾患組織の質量分析イメージング(阪大院理¹・阪大院工²・阪大医³) ○大塚 洋一¹・新聞 秀一²・木岡 秀隆³・大谷 朋仁³・坂田 泰史³

F1105 (15:30～15:45) 全自動質量分析のためのロボティックイオン源装置の開発(山梨大工¹・山梨大医²) ○二宮 啓¹・清水 拓海¹・チェン リーチュイン¹・吉村 健太郎²・平岡 賢三¹

座長 片山 佳樹

【技術功績賞受賞講演】

F1106 (16:00～16:30) 誘導体化技術を駆使した質量分析による薬毒物分析法の高度化に関する研究(福岡県警科捜研) ○脇川 憲吾・白木 亮輔

座長 酒井 達子

【有機微量分析研究懇談会】

F1107 (16:45～17:15) 共結晶化有機分子の構造分離分析(徳島文理大香川薬) ○山口 健太郎

第2日 (9月23日)

座長 齋藤 伸吾

F2001 (9:00～9:15) フルオレセインへの変換による樹脂中のフタル酸エステルの比色定量法(SGSジャパン) ○柳澤 博幸・藤巻 成彦

F2002 (9:15～9:30) 比色溶液として硝酸鉄(III)/ヘキサシアノ鉄(III)溶液を用いた、樹脂中のテトラプロモビスフェノールA(TBBPA)のスクリーニング分析(SGSジャパン) ○佐々木 佳美・佐々木 謙次・小俣 明日美・藤巻 成彦・柳澤 博幸

F2003 (9:30～9:45) 分散微粒子抽出法(7) - オンサイト分析のためのモバイル型撮影ボックスの開発と画像測色法によるシアンの高感度分析 - (富山大院理工(理)¹・明治大理工²) ○小濱 望¹・川畑 美佳¹・岡崎 琢也²・佐澤 和人¹・波多 宣子¹・倉光 英樹¹・田口 茂¹

F2004 (9:45～10:00) 生分解性キレート剤を用いたカドミウム汚染土壌の化学洗浄(金沢大院自然¹・金沢大理工²) ○原田 康弘¹・倪 聖斌¹・三星 かおり¹・笠井 颯仁¹・Rahman, Shafiqur¹・黄 国宏²・真塩 麻彩実²・長谷川 浩²

座長 倉光 英樹

F2005 (10:15～10:30) Chelator-assisted washing for the extraction of Pb from contaminated soil. (金沢大院自然¹・金沢大理工²) ○倪 聖斌¹・原田 康弘¹・三星 かおり¹・笠井 颯仁¹・Rahman, Shafiqur¹・黄 国宏²・真塩 麻彩実²・長谷川 浩²

F2006 (10:30～10:45) 完全閉鎖セル式水銀還元気化法を用いた簡易水銀測定法の開発(高知大学院理工¹・中部大食品栄養²・味の素ファインテクノ³・味の素エンジニアリング⁴) ○土居 陸卓¹・濱崎 真一¹・小崎 大輔¹・森 勝伸¹・山本 敦²・谷畑 壮磨²・高橋 武史³・坂本 甲太郎³・船戸 成人⁴

F2007 (10:45～11:00) ゲル電気泳動を用いる泥炭由来フミン酸結合型アクチノイドイオンの分子量分布(埼玉大院理工¹・日本原子力研究開発機構²) ○中野 純佳¹・丸茂 和樹¹・原賀 智子²・半田 友衣子¹・齋藤 伸吾¹

座長 伊藤 彰英

【環境分析研究懇談会】

F2008 (11:00～11:30) マーカー分析を通じたタイヤ摩耗粉じん汚染の実態把握(東薬大生命) ○熊田 英峰

第3日 (9月24日)

座長 長谷川 浩

F3001 (9:30～9:45) 遠隔山岳地域における湿性沈着中の鉛同位体比測定に基づく大気中鉛の発生源解析(徳島大院理工¹・JAMSTEC²・マリンワークジャパン³) ○山本 祐平¹・村瀬 遼亮¹・中田 亮一²・永石 一弥³・今井 昭二¹

F3002 (9:45～10:00) スプリット熱分解GC/MSを用いるマイクロプラスチック定量分析における諸因子の基礎検討(フロンティア・ラボ¹・東北大²・名工大³) ○石村 敬久¹・渡辺 忠一¹・寺前 紀夫^{1,2}・大谷 肇³

F3003 (10:00～10:15) スプリットレス熱分解GC/MSを用いる環境試料中の微量マイクロプラスチック分析(その1) スプリットレス熱分解装置を用いる測定条件の検討(フロンティア・ラボ¹・東北大²・名工大³) ○鄭 甲志¹・渡辺 忠一¹・寺前 紀夫^{1,2}・大谷 肇³

F3004 (10:15 ~ 10:30) スプリットレス熱分解GC/MSを用いる環境試料中の微量マイクロプラスチック分析 (その2) ポリスチレン分析への応用 (フロンティア・ラボ¹・東北大²・名工大³) ○松枝 真依¹・渡辺 忠一¹・渡辺 壱¹²・寺前 紀夫¹²・大谷 肇³

座長 今井 昭二

F3101 (14:30 ~ 14:45) スプリットレス熱分解GC/MSを用いる環境試料中の微量マイクロプラスチック分析 (その3) ポリエチレン分析への応用 (フロンティア・ラボ¹・東北大²・名工大³) ○佐藤 真純¹・渡辺 忠一¹・渡辺 壱¹²・寺前 紀夫¹²・大谷 肇³

F3102 (14:45 ~ 15:00) スプリットレス熱分解GC/MSを用いる環境試料中の微量マイクロプラスチック分析 (その4) 底質試料中の微量マイクロプラスチック分析における課題と対策 (フロンティア・ラボ¹・東北大²・University of Oldenburg³・名工大⁴) ○石村 敬久¹・渡辺 忠一¹・寺前 紀夫¹²・Barbara Scholz-Boettcher³・大谷 肇⁴

F3103 (15:00 ~ 15:15) 熱分解GC/MSを用いたマイクロプラスチック試料の解析ソフトウェアにおける定性確度向上の検討 (フロンティア・ラボ¹・群馬県繊維工業試験場²・東北大³) ○松井 和子¹・小松 秀和²・渡辺 壱¹³・渡辺 忠一¹・寺前 紀夫¹³

F3104 (15:15 ~ 15:30) 淡水植物プランクトンによるヒ素の取り込み及び生体内変換に及ぼす塩分濃度の影響 (金沢大院自然¹・金沢大理工²) ○藤澤 彰悟¹・宰 英涵¹・李 猛¹・Okviyoandra Akhyar¹・加藤 祐介¹・黄 国宏²・真塩 麻彩実²・長谷川 浩²

F3105 (15:30 ~ 15:45) Measurement of Cd in phytoplankton using Single Cell ICP-MS (金沢大院自然¹・金沢大理工²) ○宰 英涵¹・藤澤 彰悟¹・李 猛¹・Okviyoandra, Akhyar¹・加藤 裕介¹・黄 国宏²・真塩 麻彩実²・長谷川 浩²

【 G 会 場 】

第1日 (9月22日)

座長 小谷 明

G1001 (9:45 ~ 10:00) Highly sensitive monitoring of phosphate using well-ordered crystalline cobalt nanoparticles supported by multi-walled carbon nanotubes (佐賀大院理工¹・熊本大工²) ○Shaimah Rinda Sari¹・Masayuki Tsushida²・Tetsuya Sato²・Masato Tominaga¹

G1002 (10:00 ~ 10:15) ペルオキシ二硫酸を共反応物としたローダミンBのカソーディック電気化学発光反応 (信州大院理工¹・東北大院理²) ○西尾 育真¹・岡田 正大²・金 継業¹

G1003 (10:15 ~ 10:30) 電気化学発光を用いたO/Wエマルジョン分散状態のin situ測定 (京工織大院工芸科学) 鈴木 真由子・植田 巧・廣瀬 健人・吉田 裕美・○前田 耕治

G1004 (10:30 ~ 10:45) 全固体型イオンセンサーのための導電性高分子インク (京工織大院工芸科学) ○高見 恵生・日下部 瑛美・岩崎 凌・前田 耕治・吉田 裕美

G1005 (10:45 ~ 11:00) フェノチアジン系酸化還元色素修飾カーボンペースト電極の構築 (名工大院工) ○鳥居 航・松下 良・安井 孝志

座長 富永 昌人

G1101 (14:30 ~ 14:45) インサージョン物質を利用した薄層電解デバイスによる K⁺ のクーロメトリー (京工織大院工芸科学¹・シスメックス株式会社²) ○飯嶋 奏人¹・小島 順子²・辰 巳 史帆¹・前田 耕治¹・吉田 裕美¹

G1102 (14:45 ~ 15:00) スクリーン印刷電極に担持したNi系シングルイオン触媒を用いる電気化学センシング (山口大¹・ブルーエナジーセンター²) 北村 仁¹・藤田 航¹・片山 祐¹・○中山 雅晴¹²

G1103 (15:00 ~ 15:15) 多孔質マイクロニードル電極によるグルコースセンサの開発 (東北大AIMR¹・NIMS MANA²・東北大環境³・東北大CSIS⁴) ○甲斐 洋行¹・熊谷 明哉^{1,2,3,4}

G1104 (15:15 ~ 15:30) 電気化学的手法を用いた菌周病関連酵素CathepsinBの酵素活性評価法の確立 (九工大院工) ○Ryotaro Iwamoto・Shinobu Sato・Shigeori Takenaka

座長 熊谷 明哉

G1105 (15:45 ~ 16:00) イオン性分子の脂質二分子膜透過速度-膜内イオン濃度を考慮した解析- (京工織大院工芸科学) ○大松 照政・堀 貴翔・石田 尚人・前田 耕治・吉田 裕美

G1106 (16:00 ~ 16:15) イオン液体/水界面におけるイオン層構造の界面電位差依存性: 分子動力学シミュレーションによる解析 (京大院工) ○石井 浩介・作花 哲夫・西 直哉

G1107 (16:15 ~ 16:30) イオン液体の電気二重層構造ダイナミクスの電気化学表面プラズモン共鳴法による研究: イオン構造依存性 (京大院工) ○馬場 皓大・張 詩偉・作花 哲夫・西 直哉

G1108 (16:30 ~ 16:45) 牛肉中の遊離アミノ酸定量のためのキノンのボルタンメトリーの開発 (東薬大薬) ○小谷 明・下町 魁斗・町田 晃一・山本 法央・袴田 秀樹

座長 前田 耕治

【電気分析化学研究懇談会】

G1109 (17:00 ~ 17:30) 電気化学的アプローチによる微生物分析 (阪府大院工) ○椎木 弘

第2日 (9月23日)

座長 金 継業

G2001 (9:30 ~ 9:45) 逆滴定法を応用した競争配位子平衡吸着カソーディックストリッピングボルタンメトリーによる海水中コバルト有機配位子の測定 (東京大学大気海洋研究所¹・金沢大学理工研究域²・長崎大学水産・環境科学総合研究科³) ○黄 国宏¹²・許 嘉ネイ¹・近藤 能子³・武田 重信³・真塩 麻彩実²・長谷川 浩²・小畑 元¹

G2002 (9:45 ~ 10:00) ヒ素Ⅲ価・V価の銀電極への特異的析出と価数別定量への応用 (京工織大院工芸科学) ○佐々木 佐和・大西 彩由佳・吉田 裕美・前田 耕治

G2003 (10:00 ~ 10:15) Ni/ α -PbO₂/ β -PbO₂電極を用いるビスフェノールEの電気化学的分解 (三重大院工¹・三重大国際環境教育研究セ²) ○後藤 拳斗¹・古川 真衣¹・立石 一希²・勝又 英之¹・金子 聡¹²

G2004 (10:15 ~ 10:30) 微量Cu修飾電極を用いるメタノール溶媒中のCO₂の電気化学的還元 (三重大院工¹・三重大国際環境教育研究セ²) ○佐藤 和俊¹・古川 真衣¹・立石 一希²・勝又 英之¹・金子 聡¹²

G2005 (10:30~10:45) プラズマ処理表面改質カーボン薄膜電極の血清タンパク質存在下の電気化学分析への応用(埼玉工大院工¹・愛媛大学院理工²・産総研³) ○太田 早紀¹・小澤 友範¹・芝 駿介²・矢嶋 龍彦¹・鎌田 智之³・加藤 大³・丹羽 修¹

第3日 (9月24日)

座長 小野島 大介

G3001 (9:30~9:45) 細胞膜への分泌抗体の捕捉による抗体産生細胞の識別と誘電泳動による選択的回収(兵庫県大) ○波多美咲・鈴木 雅登・安川 智之

G3002 (9:45~10:00) 生細胞1分子観察による分子集合体形成とシグナル入力反応の可視化分析(東大院理) ○吉村 英哲・西口 知輝・小澤 岳昌

座長 吉村 英哲

G3003 (10:00~10:15) マイクロポアデバイスを用いた1細胞解析に向けた基礎検討(名大未来社会創造機構¹・名大院工²・阪大産研³・JST さきがけ⁴・量研⁵) ○有馬 彰秀¹・山内 晴加²・筒井 真楠³・安井 隆雄^{1,2,4}・湯川 博^{1,5}・嶋田 泰佑²・小野島 大介¹・馬場 嘉信^{1,2,5}

G3004 (10:15~10:30) フレキシブル表面増強ラマン散乱(SERS) センサーのためのジェルを通過する分子のSERS応答の観察(京大院工) 種市 泰河・○福岡 隆夫・Samir Kumar・名村 今日子・鈴木 基史

座長 渡慶次 学

【ナノ・マイクロ化学分析研究懇談会】

G3005 (10:45~11:15) マイクロ流体デバイスを用いた単一細胞解析アプローチ(九大院工) ○加地 範匡

【 H 会 場 】

第1日 (9月22日)

座長 伊藤 彰英

H1001 (9:45~10:00) Simultaneous Speciation Method of Mercury, Selenium, and Arsenic in Fish Sample by HPLC-ICP-MS(関学大院理工¹・産総研計量標準²) ○シトンプル ウリベニヤミン¹・岡林 識起¹・成川 知弘²・壺井 基裕¹・千葉 光一¹

H1002 (10:00~10:15) HPLC-ICP-MSによるマツタケ中のヒ素, セレン, 水銀の同時化学形態別分析(関学大生命環境¹・関学大院理工²・産総研計量標準³) ○岡林 識起¹・一瀬 陸²・シトンプル ウリベニヤミン²・成川 知弘³・壺井 基裕¹・千葉 光一¹

座長 岩井 貴弘

H1003 (10:15~10:30) 擬似同位体希釈——ICP-MS分析においてEuに与えるBaスペクトル干渉の補正法(産総研・物質計測標準¹・麻布大²) ○朱 彦北¹・伊藤 彰英²

H1004 (10:30~10:45) 還流型加熱酸分解処理を併用したキレート固相抽出/ICP-MS法による都市域河川水及び下水処理放流水中レアメタルの定量(麻布大院環境保健¹・麻布大生命環境²) ○八井田 朱音¹・天野 友揮¹・中野 和彦²・伊藤 彰英²

座長 平田 岳史

【奨励賞受賞講演】

H1005 (11:00~11:30) 大気圧プラズマを用いた微量試料の高感度無機・有機分析システムの開発(理研 Spring-8) ○岩井 貴弘

座長 朱 彦北

H1101 (14:30~14:45) 頭髮中臭素の化学形態別分析のためのETV-DBD-OES法の開発(関学大¹・理研Spring-8²・東工大未来研³) ○加藤 雅子¹・岡林 識起¹・岩井 貴弘²・瀬戸 康雄²・沖野 晃俊³・千葉 光一¹

H1102 (14:45~15:00) 単一細胞ICP質量分析法(SC-ICP-MS)による大腸菌組換えタンパク質の定量分析(千葉大院薬) ○島崎 隼輔・田中 佑樹・福本 泰典・小椋 康光

H1103 (15:00~15:15) 液中レーザーアブレーション法による超微粒子の破碎とその低減法(東大院理) ○赤宗 舞・中里 雅樹・山下 修司・平田 岳史

H1104 (15:15~15:30) 液中レーザーアブレーション-ICP質量分析法を用いた遠隔資料分析(東京大学大学院理学系研究科) ○平田 岳史・中野 遥

座長 岡林 識起

H1105 (15:45~16:00) 飛行時間型ICP質量分析計を用いた微粒子の個別分析と三角図によるデータ可視化(東大院理) ○栗原 かのこ・中里 雅樹・堀越 洸・山下 修司・平田 岳史

H1106 (16:00~16:15) ICP-MSによるHDD内微粒子測定法の検討(東芝デバイス&ストレージ) ○水谷 晶代・青木 俊幸・渡邊 徹・園田 幸司・高橋 幹・富岡 由喜・山根 正巳

H1107 (16:15~16:30) ソーダライムガラスの表面から深さ方向のスズ価数分析(AGC先端研) ○西條 佳孝

第2日 (9月23日)

座長 藤原 学

H2001 (9:00~9:15) 自立型ポリエチレン薄膜を用いて測定したsp³炭素の質量吸収係数(兵県大院工) ○村松 康司・松本 侑也

H2002 (9:15~9:30) 幕末期の三重津海軍所跡(佐賀)から出土した柄鏡のシンクロトン蛍光X線分析(佐賀大理工) ○田端 正明

H2003 (9:30~9:45) 塩水中亜鉛プライマー塗布鋼板の電気化学反応の共焦点三次元蛍光X線モニタリング(阪市大院工¹・神戸製鋼²) ○松山 嗣史¹・園田 将太¹・淵田 知希¹・阪下 真司²・辻 幸一¹

H2004 (9:45~10:00) プラズマ親水性処理基板を用いた全反射蛍光X線分析法によるワイン試料中の微量元素分析(阪市大院工¹・サントリー²) ○田中 悠大¹・松山 嗣史¹・呉 準席¹・鳥羽 真由子²・島 壮一郎²・辻 幸一¹

H2005 (10:00~10:15) 鉄のXANESを用いた有明海底泥の状態の評価(県大広島生物資源¹・県大広島院総合学術²) ○西本 潤¹・仲原 綾香²

座長 辻 幸一

【女性analyst賞受賞講演】

H2006 (10:30~11:00) 放射光X線を用いる植物の元素イメージングと微量元素の動態解明(東京電機大工) ○保倉 明子

座長 谷田 肇

【X線分析研究懇談会】

H2007 (11:00~11:30) 走査型透過X線顕微鏡による顕微分析の先端研究—はやぶさ2、ドラッグデリバリー、アポトーシス—(分子研 UVSOR) ○大東 琢治

【 会 場 】

第1日 (9月22日)

座長 下赤 卓史

I1001 (9:30~9:45) Au/WSe₂結合系ナノ構造の発光特性(北大院総化¹・都立大院理²・北大院理³) ○坂本 ひより¹・遠藤 尚彦²・今枝 佳祐³・宮田 耕充²・上野 貢生³

I1002 (9:45~10:00) 制御された金属ナノ構造を用いたプラズモン誘起光反応計測(北大院総化¹・北大理²・北大院理³)

○福本 雄真¹・許 殷豪¹・高橋 佑輔²・今枝 佳祐³・上野 貢生³

I1003 (10:00~10:15) 結合系プラズモニクナノ構造による表面増強ラマン散乱分光特性(北大院総化¹・北大院理²) ○宮崎 凜¹・今枝 佳祐²・上野 貢生²

I1004 (10:15~10:30) 赤外プラズモン構造を用いた蛍光・ラマン散乱信号の制御(北大院総化¹・北大院理²) ○北島 雄人¹・今枝 佳祐²・上野 貢生²

I1005 (10:30~10:45) 表面プラズモンが誘起する銀ナノ構造のエッチングと吸着種の光酸化(埼玉大院理工) ○二又 政之・能重 晴妃

座長 長谷川 健

【論文賞講演】

I1006 (11:00~11:30) RGB-スペクトル変換法によるスマートフォン画像を利用した比色分析法の開発(宇都宮大工) ○稲川 有徳・上原 伸夫

座長 尾崎 幸洋

【女性analyst賞受賞講演】

I1101 (14:30~15:00) ラマン分光法, 近赤外分光法を用いた生体のin situイメージング分析— 生命の輝きを分光分析を通して視る — (島大院農) ○石垣 美歌

座長 上野 貢生

I1102 (15:15~15:30) SERS活性金ナノ粒子自己集合を含むニスインキを用いたプラズモニク印鑑(京大院工¹・兵庫県大高度研²) ○福岡 隆夫¹・鈴木 基史¹・名村 今日子¹・Kumar Samir¹・山口 明啓²

I1103 (15:30~15:45) 表面形状がラマン分光法の選択律に与える影響(京大化研) ○大槻 眞士・下赤 卓史・塩谷 暢貴・長谷川 健

I1104 (15:45~16:00) 顕微ラマン分光分析を用いた蛇紋岩における結晶多形識別方法の検討(東京理大理) ○鹿島 有人・浦島 周平・由井 宏治

I1105 (16:00~16:15) 表面増強ラマン散乱強度の統計解析による定量計測(東工大理学院) ○福永 悠・岡田 哲男

座長 由井 宏治

I1106 (16:30~16:45) 共鳴ラマン分光法を用いたマウス卵子の呼吸活性及び脂質代謝バランス評価に基づいた成熟度判別分析(島大院農¹・堀場(株)²・日女大理³) ○石垣 美歌¹・柏木 伸介²・若林 慧²・星野 由美³

I1107 (16:45~17:00) 分光電気化学測定法によるピレンのラジカルアニオンダイマーの検出(九大院工) ○石松 亮一・中野 幸二

I1108 (17:00~17:15) Utility of acetyl pyridine as a novel fluorogenic derivatization reagent for aromatic aldehydes: Application to the analysis of serum amine oxidase activity (長崎大学医歯薬学総合研究科(薬学系)¹・Faculty of Pharmacy - Mansoura University - Egypt²) ○Mahmoud El-Maghrabey^{1,2}・Taro Nakatani¹・Naoya Kishikawa¹・Naotaka Kuroda¹

第2日 (9月23日)

座長 馬渡 和真

I2001 (9:00~9:15) 近赤外超短パルス光の発生とこれをイオン化光源とする質量分析の研究(九大) 中野 雄太・今坂 智子・今坂 藤太郎

I2002 (9:15~9:30) 時間相関単一イオン計数法に基づくフェムト秒Ybレーザーイオン化/超小型飛行時間型質量分析計の開発(九大院芸工¹・九大²) ○吉永 勝法¹・今坂 藤太郎²・今坂 智子¹

I2003 (9:30~9:45) Benzyl esterification of perfluoroalkyl carboxylic acids for gas chromatography combined with laser ionization mass spectrometry (Kyushu University¹・Yanshan University²) ○WEN, LU¹・JIN, FENG DAN²・IMASAKA, TOTARO¹・IMASAKA, TOMOKO¹

I2004 (9:45~10:00) 真空紫外フェムト秒光パルスの発生とこれをイオン化光源とするアミノ多環芳香族化合物の質量分析(九大院芸工¹・九大院工²) Thang Dinh Phan²・Adan Li²・中村 博²・今坂 智子¹・今坂 藤太郎²

座長 今坂 藤太郎

I2005T (10:15~10:45) O-PTIRによる非接触・高空間分解能の赤外分析((株)日本サーマル・コンサルティング) ○馬殿 直樹

座長 石坂 昌司

I2006 (10:45~11:00) 質量分析法を用いた温度により変化するエマルションの相状態の評価(福井大院工) ○加藤 なな子・岩田 匡史・内村 智博

I2007 (11:00~11:15) O/WエマルションのpH変化に伴う化学種の分配挙動の評価(福井大院工¹・福井大工²) ○橋本 将平¹・山田 能史²・板谷 健吾¹・内村 智博¹

第3日 (9月24日)

座長 内村 智博

I3001 (9:30~9:45) レーザー誘起ブレイクダウン分光法(LIBS)を用いた金属ホウ化物の表面硬さ測定への適用検討1. 元素組成情報と硬さの同時計測手法の検討(アート科学¹・化研²・原子力機構大洗研³・阪大⁴) ○幕内 悦予¹・長山 咲子²・阿部 雄太³・岡崎 航大²・川上 智彦²・大石 佑治⁴・大高 雅彦³

I3002 (9:45~10:00) レーザー誘起ブレイクダウン分光法(LIBS)を用いた金属ホウ化物の表面硬さ測定への適用検討2. 組成が複雑な金属ホウ化物試験体の表面分布測定(化研¹・原子力機構大洗研²・アート科学³・阪大⁴・福島大⁵) ○岡崎 航大¹・川上 智彦¹・長山 咲子¹・阿部 雄太²・大高 雅彦²・幕内 悦予³・大石 佑治⁴・高貝 慶隆⁵

I3003 (10:00~10:15) 減圧下レーザー誘起ブレイクダウン分光法(LP-LIBS)を用いた分子バンド観測による月面水資源の識別法の検討(JAXA¹・東大院理²) ○相田 真里¹・与賀田 佳澄¹・宮原 秀一²・平田 岳史²

I3004 (10:15～10:30) ナノ流路による光回折現象を利用した単一ナノ粒子の光散乱・光吸収同時測定法の開発 (東大院工)
○津山 慶之・馬渡 和真

【 N 会 場 】

第2日 (9月23日)

座長 大塚 浩二

【学会賞受賞講演】

N2101 (14:45～15:25) プロテオーム解析のための基盤技術開発と応用 (京大院薬) ○石濱 泰

座長 長谷川 健

【学会賞受賞講演】

N2102 (15:30～16:10) 微量金属・同位体の精密分析法の開発と水圏環境化学の革新 (京大化研) ○宗林 由樹

座長 竹中 繁織

【学会賞受賞講演】

N2103 (16:15～16:55) 生体分子分析法のためのナノ・マイクロバイオセンサーの開発 (産総研¹・阪大産研²) ○民谷 栄^{1,2}

【 P (フロア1) 会 場 】

第2日 (9月23日)

P2101 (13:30～14:30) 工業材料中のほう素定量分析 (東レリサーチセ) ○村田 大輔・北村 智子・畑 和貴・坂口 晃一

P2102 (13:30～14:30) spICP-MSによる有機溶媒中のナノ粒子分析～Audio-Frequency Noiseの観測と固相抽出を用いた改善II～ (京セラ) ○山下 真弘・山本 周平・中西 将太・関 広美

P2103 (13:30～14:30) 金属ナノ粒子の安定的高分子被膜とプラズモン蛍光増強センサーへの応用 (PHC¹・徳島大pLED²) ○小松 由枝¹・上杉 充弘¹・岡本 房俊¹・加藤 遼²・田中 拓男²・矢野 隆章²・北脇 文久¹

P2104 (13:30～14:30) 創薬における分子間相互作用の統合解析 (東レリサーチセンター) ○竹澤 正明・松村 雄輝・中野 隆行

P2105 (13:30～14:30) イネとムギの種子・根・葉における鉄とマンガンの分布 (龍谷大先端理工) 樽谷 直樹・糟野 潤・○藤原 学

P2106 (13:30～14:30) *in situ* XAFSによる無電解ニッケルめっき反応の解析 (日産化学¹・都立大院理²) ○中島 淳一¹・野上 哲平¹・梶原 佑紀¹・近間 克己¹・山添 誠司²

P2107 (13:30～14:30) NanoESIMS/MSによるAg(I)錯体の安定性評価 (東レリサーチセ) ○李 茜・澤田 啓介・日下田 成・松田 景子

P2108 (13:30～14:30) 医薬品に混入したニトロソアミン類のインチューブSPME/LC-MS/MS法による分析 (就実大・薬) ○石崎 厚・小澤 和剛・片岡 洋行

P2109 (13:30～14:30) 生体ガス等測定用高湿度VOC標準ガス発生装置の開発 (産総研) ○渡邊 卓朗・李 鵬・下坂 琢哉

P2110 (13:30～14:30) 高純度二酸化硫黄ガス認証標準物質 (NMIJ CRM3402b)の開発 (産総研計量標準総合センター) ○松本 信洋

P2111 (13:30～14:30) めっき排水の無害化と再資源化に関する研究開発 (名古屋市工業研究所) ○林 朋子・柴田 信行・岸川 允幸・石垣 友三・木下 武彦・大岡 千洋

P2112 (13:30～14:30) ガリウム(III)トリス(2,4-ペンタンジオナト)錯体担持発色膜を用いたセレン(IV)の簡易検出 (産総研東北) ○和久井 喜人・相澤 崇史

P2113 (13:30～14:30) 湿性沈着中の石油起源物質について(1) -環境省微小粒子状物質化学成分データから見たShip emissionの特徴化の考察- (徳島大院理工) ○今井 昭二・山本 祐平

第3日 (9月24日)

P3101 (13:30～14:30) GED-ICP-MSを用いる大気中PM2.5に含まれる金属元素のリアルタイム測定結果の新たな定量方法の検討 その2 (京大院工) ○西口 講平・米田 稔

P3102 (13:30～14:30) TOF-ICP-MSを用いたナノ粒子の多元素組成分析 (Nu Instruments¹・アメテック²) Phil Shaw¹・Lukas Schlatt¹・○高橋 隆子²

P3103 (13:30～14:30) アデニンの金ナノ粒子表面の吸着状態分析 (埼玉大院理工) ○二又 政之・吉本 貴洸・関 雅子

P3104 (13:30～14:30) アリアルポロン酸の二量体化反応促進に基づくパラジウムイオンの蛍光定量法 (長崎大院医歯薬) ○岸川 直哉・河村 颯一・丹下 愛佳里・東 杏澄・Mahmoud Hamed Elmaghrabey・黒田 直敬

P3105 (13:30～14:30) 銅系顔料である藍銅鉱と孔雀石の反射スペクトルと分子軌道計算 (龍谷大先端理工) 中 遙加・石田 尚暉・松中 岩男・○藤原 学

P3106 (13:30～14:30) 蛍光X線分析法による多摩川河川底質中の含有元素および有機物量の推定 (株式会社リガク¹・明治大学大学院理工学研究科²・明治大学理工学部³) ○松田 渉¹・猪瀬 聡史²・齋藤 凜太郎²・高橋 学人¹・森山 孝男¹・小池 裕也³

P3107 (13:30～14:30) ナノ流体デバイスを用いた細胞培養液中のエクソソームの定量の探索 (阪府大院工¹・東大院医²・愛知県がんセンター³・JST-さきがけ⁴・阪府大NanoSquare研⁵) ○村田 幸作¹・小嶋 良輔²・小根山 千歳³・許 岩^{1,4,5}

P3108 (13:30～14:30) フェノール・次亜塩素酸塩との反応と吸光度測定を利用するFIA法による過酸化水素の定量 (東海大理) ○三上 一行・風岡 裕介・山中 翔太

P3109 (13:30～14:30) LC/MSを用いた環境水中のヒドラジンの測定法の検討 (東ソー) ○伊藤 誠治・中田 文弥

P3110 (13:30～14:30) メタルフリーカラムを用いたLC-MSによる生分解性キレート剤の分析 (金沢大院自然¹・石川県警科捜研²・金沢大理工³) ○脇田 諒一¹・村上 貴也^{2,3}・守田 彩¹・黄 国宏³・眞塩 麻彩実³・長谷川 浩³

【 P (フロア2) 会 場 】

第2日 (9月23日)

P2114 (13:30～14:30) カーボンナノチューブ/カルボキシメチルセルロース電極を用いるコーヒー焙煎度の判定 (芝浦工業大学) ○和田 遼太郎・松島 大秀・六車 仁志・越阪部 奈緒美

P2115 (13:30～14:30) インクジェットポラログラフイーの試み (信州大理) 青木 多恵子・岡田 拓也・○巽 広輔

P2116 (13:30～14:30) 対イオン添加によるイオン性分子のリン脂質小胞内封入法 (京工織大院工芸科学) ○鎌田 和希・石田 尚人・大松 照政・前田 耕治・吉田 裕美

P2117 (13:30 ~ 14:30) バイオ医薬品分析へのイオンモビリティ質量分析計の応用(東レリサーチセンター) ○荒井 大河・太田 里子・齋藤 恵・矢崎 啓寿・田中 祥徳・竹澤 正明

P2118 (13:30 ~ 14:30) ビタミンD用LC/MS誘導体化試薬の開発(トクヤマつくば研究所) ○花澤 菜摘・佐藤 誠・松重 操・菊池 重俊・寺内 靖弘・渡辺 伸・岩崎 史哲

P2119 (13:30 ~ 14:30) 亜臨界処理を施した高分子の質量スペクトルに対するトポロジカル解析(横浜国大環境情報¹・JST さきがけ²・横浜国大理工³・神工試⁴・産総研⁵・富士通⁶) ○藤井 麻樹子^{1,2}・越下 裕貴³・小島 緋依³・会田 卓矢¹・高田 峻吾¹・三島 有⁴・津越 敬寿⁵・片岡 祐治⁶

P2120 (13:30 ~ 14:30) Fiber SPME/GC-MS法による衣類洗浄効果評価法の構築と応用(就実大薬) ○齋藤 啓太・脇 有紗・片岡 洋行

P2121 (13:30 ~ 14:30) 熱脱離-高分解能GC/Q-TOFMS(高分解能TD-GC/Q-TOFMS)を用いた含フッ素樹脂の加熱発生ガスの詳細解析((株)東レリサーチセンター) ○野田 明日香・竹本 紀之・塩路 浩隆

P2122 (13:30 ~ 14:30) ナノ流体デバイスにおける単一ナノ粒子の光圧操作のハイスループット化(大阪府立大学¹・宇都宮大学オプティクス教育研究センター²) ○田中 宗玄¹・早崎 芳夫²・佐々木 雄太¹・許 岩¹

P2123 (13:30 ~ 14:30) 地下水、河川水、汽水域の2価鉄の定量(東京海洋大¹・理研²) ○田中 美穂¹・小田 恭平¹・伊井 恭大¹・高橋 和也²

P2124 (13:30 ~ 14:30) ICP質量分析計を接続した連続融解分析装置による雪氷コア中無機成分の分析(国立極地研¹・総研大²) ○平林 幹啓¹・尾形 純¹・東 久美子^{1,2}・藤田 秀二^{1,2}

P2125T (13:30 ~ 14:30) イオンクロマトグラフィーを用いた高純度TMAH中の微量陰イオン成分の自動測定(サーモフィッシャーサイエンティフィック株式会社) 鈴木 隆弘・○李 卉

第3日(9月24日)

P3111 (13:30 ~ 14:30) イオン液体含有高分子膜を用いた二価遷移金属イオンの液膜輸送(京教大教¹・京大化研²) ○向井 浩¹・安達 智哉¹・三嶋 大侑¹・宗林 由樹²

P3112 (13:30 ~ 14:30) イオン対錯体型蛍光アニオンプローブの結晶化と高感度化(阪教大¹・大阪技術研(森)²) ○久保埜 公二¹・杉山 拓弥¹・田中 奏多¹・柏木 行康²・谷 敬太¹・横井 邦彦¹

P3113 (13:30 ~ 14:30) ニトロ基を持つアゾベンゼン型ジピコリルアミンプローブ金属錯体/シクロデキストリン包接化合物のATP認識機構(上智大理工) ○橋本 剛・皆川 晶平・石田 真幸・堤 恭平・早下 隆士

P3114 (13:30 ~ 14:30) 光分解を用いた溶存態リンのスペシエーションと分解効率に及ぼす過酸化水素の効果(阪教大¹・京大院理²) ○横井 邦彦¹・山中 雄介¹・永江 あゆみ²・久保埜 公二¹

P3115 (13:30 ~ 14:30) 超伝導Nb空洞の水冷電解研磨(EP)工程で観測された電流信号の振動現象に関して(高エネ研) ○後藤 剛喜・早野 仁司・梅森 健成・宍戸 寿郎・文珠 四郎 秀明

P3116 (13:30 ~ 14:30) 吸着等温測定による炭素材料のインドール吸着選択性の評価(九大院工¹・WPI-I2CNER²・九大CMS³) ○赤峰 麻衣¹・藤ヶ谷 剛彦^{1,2,3}

P3117 (13:30 ~ 14:30) 電気化学ATR紫外可視分光法による有機半導体/イオン液体界面の電子状態解析(阪大院基礎工¹・東大院新領域²) ○田邊 一郎¹・井本 彩葉¹・岡上 大二朗¹・今井 雅也¹・熊谷 翔平²・牧田 龍幸²・三谷 真人²・岡本 敏宏²・竹谷 純一²・福井 賢一¹

P3118 (13:30 ~ 14:30) 熱脱着GC/MS分析法による大気PM2.5中多環芳香族炭化水素の定量(京工織大院工芸¹・島津製作所²) ○布施 泰朗¹・初 雪^{1,2}

P3119 (13:30 ~ 14:30) 北海道室蘭市における大気中PCBsのトレンド:2006-2020(道総研 エネ環地研) ○姉崎 克典

P3120 (13:30 ~ 14:30) ICP質量分析計を用いたテクネチウム99の測定に係る検討(原子力規制庁) ○深井 恵・高橋 宏明

P3121 (13:30 ~ 14:30) ピーク形状に着目した機械学習による高分解能マススペクトルからのノイズピーク除去法開発と高分子分析への応用(日本電子) ○佐藤 貴弥・武井 雅彦・植松 文徳

【 P (フロア3) 会場 】

第3日(9月24日)

P3122 (13:30 ~ 14:30) 凍結粉碎とAQUA法を用いた大豆タンパク質β-コングリシニンの分析法(農研機構食品研) ○一法師 克成

P3123 (13:30 ~ 14:30) 自然太陽光による溶液中キノロン系抗菌薬の光分解速度に関する研究(道衛研) ○藤井 良昭・加賀 岳朗・上田 友紀子・青柳 直樹・西村 一彦

P3124 (13:30 ~ 14:30) 膜内電圧制御に基づく新たな人工細胞膜イオンチャネル解析系の構築(東北大電気通信研¹・東北大院医工²・山形大院理工³・東北大院工⁴・東北大AIMR⁵・埼玉大院理工⁶・東北福祉大感性福祉研⁷) ○小宮 麻希¹・佐藤 まどか^{1,2}・鹿又 健作³・渡辺 恭也^{1,2}・安藤 大貴^{1,4}・陰山 弘典^{1,2}・馬騰⁵・横田 滯央^{1,4}・但木 大介¹・山本 英明¹・戸澤 譲⁶・廣瀬 文彦³・庭野 道夫⁷・平野 愛弓^{1,5}

P3125 (13:30 ~ 14:30) 環境水中の呼吸阻害性物質の発光関連遺伝子組換え大腸菌による生物発光可視化(京都光科学研究所¹・京工織大機能物質化学専攻²・京大宇治地区総合安全管理センター³・京工織大院分子化学系⁴) ○柄谷 肇¹・門司 翔吾²・水口 裕尊³・布施 泰朗⁴

P3126 (13:30 ~ 14:30) インチューブSPME/LC-MS/MSによる硫酸化ステロイド代謝物の高感度分析法の開発(就実大薬) 中山 大輝・○片岡 洋行

P3127 (13:30 ~ 14:30) 医薬品評価のための内部量子効率計測(都産技研¹・国立衛研²) ○藤巻 康人¹・小金井 誠司¹・坂本 知昭²

P3128 (13:30 ~ 14:30) 2-(5-bromo-2-pyridylazo)-5-[N-n-propyl-N-(3-sulfopropyl)amino]phenol-Pd錯体を用いた血中シアンの新規分析法の開発(京都府警科捜研¹・近畿大薬²) ○森川 泰裕¹・西脇 敬二²・鈴木 茂生²・荒木 直樹¹・八坂 直幸¹・岡田 悠登¹・塩見 和孝¹・仲西 功²

P3129 (13:30 ~ 14:30) 2,3-Naphthalenedialdehydeを用いる血中シアン高感度簡易蛍光測定装置の開発(京都府警科捜研¹・近畿大薬²) 森川 泰裕¹・○鈴木 茂生²・西脇 敬二²・仲西 功²

P3130 (13:30 ~ 14:30) Ar及びNe同位体を内部標準とした血液中CO及びH₂の同時定量分析に関する研究(福岡県警科捜研¹・九大院農²) ○辻田 明¹・長坂 麻美¹・砂原 絵理¹・岡崎 英彦¹・松井 利郎²

P3131 (13:30 ~ 14:30) 大学教室内での大気環境調査(高知県大健栄¹・国立科学院生活環境²) ○小林 淳¹・松本 晏奈¹・藤田 優香¹・杉山 英男²

【 S 会 場 】

第2日(9月23日)

【産業界R&D紹介ポスター(一般公開)】

S2001 (9:30 ~ 10:30) 非水溶媒中でのpH・pK_a精密測定-応答速度の改善と水分の制御-(富士フィルム¹・堀場製作所²) ○芝本 匡雄¹・森 淳一¹・宮下 陽介¹・野村 聡²・中村 龍人²

【産業界R&D紹介ポスター(一般公開)】

S2002 (9:30 ~ 10:30) フェムト秒レーザーアブレーション-ICP-MSで固体中の微量元素定量を可能にする標準物質の開発(2)(富士フィルム解析セ¹・東京大学大学院理学系研究科²) ○宮下 陽介¹・寺尾 祐子¹・相山 卓郎¹・平兮 康彦¹・山下 修司²・平田 岳史²

【産業界R&D紹介ポスター(一般公開)】

S2003 (9:30 ~ 10:30) AGCにおける分析科学チームのミッションと分析事例(AGC) ○小澤 沙記・西條 佳孝・秋山 良司・山本 雄一

【産業界R&D紹介ポスター(一般公開)】

S2004 (9:30 ~ 10:30) 新規環境規制物質のスクリーニング手法の開発(東芝研開セ) ○沖 充浩・近藤 亜里・盛本 さやか・佐藤 友香

【 Y (フロア1) 会 場 】

第1日(9月22日)

Y1001 (11:30 ~ 12:30) マイクロドロップレットジェネレーターを用いた単一細胞・粒子の元素分析(千葉大学大学院薬学研究院) ○飯田 里紗子・田中 佑樹・小椋 康光

Y1002 (11:30 ~ 12:30) HPLC-ICP-MSによる頭髮中Br, Se, As, Hgの化学形態別分析手法の開発(関学大院理工¹・関学大生命環境²・JASRI/SPring-8³) ○上岡 涼太¹・岡林 識起²・岩井 貴弘³・瀬戸 康雄³・千葉 光一²

Y1003 (11:30 ~ 12:30) レーザーアブレーションICP質量分析法によるナノ粒子・溶存イオンの定量イメージング分析(東大院理) ○山下 修司・平田 岳史

Y1004 (11:30 ~ 12:30) 固体表面の吸着物質に対応したSERSスクリーニング法; 残留農薬を例として(東洋大院生命¹・理化学研究所²・ビーレフェルト大³・東洋大バイオナノセ⁴) ○齋藤 暢頭¹・渡辺 康介¹・岡本 隆之²・Armin Goelzhauser³・竹井 弘之⁴

Y1005 (11:30 ~ 12:30) 鱗翅目が有するナノ構造体に基づいたバイオミメティック的SERS用基板の作製(東洋大院生命¹・東洋大生命²・東洋大バイオナノセ³) ○山崎 桃果¹・竹井 弘之^{2,3}

Y1006 (11:30 ~ 12:30) オリゴ糖における構成単糖と結合性による遠紫外に観測される遷移の違い(近大院理工総合¹・近大院理工²) ○佐々木 亮輔¹・菊池 真由²・森澤 勇介^{1,2}

Y1007 (11:30 ~ 12:30) マレイミド - メタノール2成分気相系の固相析出過程に観られるIR-ATR信号の振動現象(鹿大院理工) ○永光 航大・吉留 俊史・満塩 勝

Y1008 (11:30 ~ 12:30) 赤外ATR法と重力沈降現象を利用する新規な粒径計測法における共存粒子相互干渉とpHの影響(鹿大院理工) ○川野 碧士・吉留 俊史・満塩 勝

Y1009 (11:30 ~ 12:30) 表面増強蛍光法による酵素反応リアルタイムモニタリング(東洋大院生命¹・東洋大バイオナノセ²) ○草場 勇哉¹・竹井 弘之²

Y1010 (11:30 ~ 12:30) 光化学反応による銀ナノ粒子生成過程の時間分解分光分析(金沢大院自然) ○高 磨央・西山 嘉男・永谷 広久

Y1011 (11:30 ~ 12:30) セミマイクロHPLC/光熱変換ヘテロダイン干渉分光法を用いた環境関連物質の無標識・高感度分離分析(九大院総理工) ○木原 香澄・磯田 美紀・原田 明

Y1012 (11:30 ~ 12:30) 加熱および膠添加した辰砂と鉛丹の化学状態変化(龍谷大理工¹・龍谷大先端理工²) ○平山 実夢¹・藤原 学²

Y1013 (11:30 ~ 12:30) ジメチルグリオキシム前濃縮を併用した水試料中微量Niの蛍光X線分析(三重大院工¹・三重大国際環境教育研究セ²) ○藤原 崇行¹・古川 真衣¹・勝又 英之¹・立石 一希²・金子 聡¹

Y1014 (11:30 ~ 12:30) 全反射蛍光X線分析装置を用いたマスクの大気中浮遊粒子状物質捕集性能評価の基礎検討(阪市大院工) ○山口 浩輝・松山 嗣史・辻 幸一

Y1101 (13:30 ~ 14:30) HPLC-ICP-MSによるタマネギ中セレン化合物のスペシエーション分析(関学大院理工¹・関学大生命環境²・産総研計量標準³) ○亀本 雄基¹・岡林 識起²・成川 知弘³・壺井 基裕²・千葉 光一²

Y1102 (13:30 ~ 14:30) 異なる条件の原子励起を連続的に実現するための、強度変調マイクロプラズマの生成実験(東工大未来研¹・東薬大生命科学部²) ○清水 祐哉¹・石川 雄大¹・柳井 優作¹・吉田 大輝¹・太田 高志¹・青木 元秀²・梅村 知也²・沖野 晃俊¹

Y1103 (13:30 ~ 14:30) 海藻含有元素の時系列変化からみた海洋環境復元の試み(関学大) ○福山 寛伍・谷水 雅治

Y1104 (13:30 ~ 14:30) 赤外光導波路による溶存二酸化炭素センサーの開発研究(神戸大院海事科学¹・神戸大国際海事研究セ²・紀本電子工業³) ○谷嵐 正之¹・孟 広治¹・堀田 大樹^{1,2}・角田 欣一²・紀本 岳志³

Y1105 (13:30 ~ 14:30) 共鳴ラマン分光によるcytochrome cの凍結挙動評価(東工大理学院) ○福永 悠・岡田 哲男

Y1106 (13:30 ~ 14:30) SERS法による血管内皮細胞の薬物応答性評価(東洋大院生命¹・東洋大生命²・東洋大バイオナノセ³) ○布施 知大¹・中川 侑香¹・設楽 彩子¹・宮坂 智朗²・金子 律子²・竹井 弘之^{2,3}

Y1107 (13:30 ~ 14:30) 蛍光スペクトルによる凍結濃縮溶液の物性の評価(東工大) ○梁 詩雅・原田 誠・岡田 哲男

Y1108 (13:30 ~ 14:30) ナノ銀樹形成工程の制御による、SERS用基板の高性能化(東洋大生命¹・東洋大バイオナノセ²) ○中村 里駆¹・星野 翔平¹・落合 悠太¹・竹井 弘之^{1,2}

Y1109 (13:30 ~ 14:30) コレステロールの水核活性に関する研究(広島大院先進理工) ○酒本 航平・石坂 昌司

Y1110 (13:30～14:30) 光ピンセットを用いた単一エアロゾルの表面電荷計測法の開発 (広島大院先進理工) ○三和 綾乃・石坂 昌司

Y1111 (13:30～14:30) レーザー捕捉・蛍光相関分光法を用いた過飽和水滴の粘度の計測 (広島大院先進理工) ○竹内 優稀・石坂 昌司

第2日 (9月23日)

Y2001 (11:30～12:30) ビーズインジェクション法を適用した固相流れ分析法による海水中に存在するFe(II)の定量法開発 (新潟大院¹・新潟大理²・福教大教育³・九大院理⁴) ○村上 歌菜¹・杉内 諒暉²・松岡 史郎²・宮崎 義信³・吉村 和久⁴

Y2002 (11:30～12:30) アミノポリホスホン酸固定化メタクリル樹脂の合成と金属イオンの抽出・溶離挙動 (新潟大院自然¹・新潟大理²) ○吉川 裕貴¹・佐藤 敬一²

Y2003 (11:30～12:30) 気泡を用いる薬物の迅速かつ選択的な分離技術の開発 (北見工大) ○兎玉 康輝・山崎 広夢・大岩 真子・齋藤 徹

Y2004 (11:30～12:30) 塩化物系イオン液体のヨウ化物イオンに対するイオン交換特性 (千葉大院融合理工学府¹・千葉大院理²) ○岩佐 光起¹・杉本 瑛都¹・勝田 正一²

Y2005 (11:30～12:30) 機械的刺激がベンゼンアミド誘導体に及ぼす影響 (阪工大工) ○岡田 拓郎・平原 将也・藤森 啓一・森内 隆代

Y2006 (11:30～12:30) ESI-MSを用いたネオジムとジスプロシウムの水相での錯形成と有機相における抽出剤との挙動 (東京海洋大院) ○尾崎 智美・田中 美穂

Y2007 (11:30～12:30) 含ホウ素CTG-Alizarin+糖類を用いたフラーレンに対する認識能評価 (阪工大工) ○山森 健司・平原 将也・藤森 啓一・森内 隆代

Y2008 (11:30～12:30) がんの中性子捕捉療法を志向したGd(III)-チアカリックスアレーン錯体搭載アルブミンナノ粒子の創製 (東北大院環境¹・京大複合研²) ○小宮 未来¹・大和谷 匠¹・鈴木 実²・壹岐 伸彦¹

第3日 (9月24日)

Y3001 (11:30～12:30) 1-(2-チアゾリルアゾ)-2-ナフトールを用いた二価遷移金属イオンのイオン液体キレート抽出 (東邦大理) ○竹田 莉央・森田 耕太郎・平山 直紀

Y3002 (11:30～12:30) 含硫黄イオン液体を用いたクラスb金属イオンの共抽出 (甲南大理工) ○西嶋 拓貴・岩月 聡史・茶山 健二

Y3003 (11:30～12:30) 流れ分析と電気化学を組み合わせた医療用放射性同位体元素の高速分離・液性置換 (高知大院理工¹・量研²・熊本大院先端³・熊本大院自然⁴) ○真鍋 日那子¹・丸山 洋平¹・須郷 由美²・大平 慎一³・宮地 凌摩⁴・小畑 翔平⁴・戸田 敬³・石岡 典子²・森 勝伸¹

Y3004 (11:30～12:30) 微量元素の迅速な固相抽出分離を可能にする自動システムの開発:抽出・溶出操作の並列化によるスループット向上の試み (富山大院理工(工)) ○横田 優貴・源明 誠・井上 嘉則・加賀谷 重浩

Y3005 (11:30～12:30) ルテニウム錯体/ジピコリルアミン修飾シクロデキストリン包接複合体の合成及びリン酸誘導体の電気化学的検出 (上智大理工) ○中条 瞳・Maria Antonietta Casulli・橋本 剛・早下 隆士

Y3006 (11:30～12:30) 無保護含ホウ素CTG誘導体の分子認識能評価 (阪工大工) ○上念 朋生・平原 将也・藤森 啓一・森内 隆代

Y3007 (11:30～12:30) 高い酸性度を持つボロン酸型プローブとシクロデキストリンの複合体による糖類の分子認識 (上智大理工) ○鈴木 陽太・橋本 剛・早下 隆士

Y3008 (11:30～12:30) 膜状メソ細孔シリカを用いた亜硝酸イオンの蛍光分析法の開発 (山口大院創成科学¹・山口大大教セ²) ○窪山 颯太¹・藤原 勇²・村上 良子¹

Y3009 (11:30～12:30) 高い酸性度のボロン酸を骨格内に有する種々のジボロン酸型比色糖化学センサーの評価 (早大院先進理工¹・上智大理工²・千葉工大工³) ○有村 祐美¹・鈴木 陽太²・菅谷 知明³・石原 浩二¹

Y3010 (11:30～12:30) o-アミノメチルフェニルボロン酸とD-フルクトースとの反応に関する速度論的研究 (早大院先進理工¹・上智大理工²・千葉工大工³) ○鈴木 翔大¹・鈴木 陽太²・菅谷 知明³・石原 浩二¹

Y3011 (11:30～12:30) イオン液体を溶媒とするLiイオン電池用超濃厚電解液の溶液構造解析 (山口大工¹・山口大院創成²) ○川口 翼¹・大杉 菜由²・藤井 健太²

Y3012 (11:30～12:30) イオン性界面活性剤の油水界面吸着の電位依存性 (神戸大院理) ○山内 厚毅・枝 和男・大塚 利行

Y3013 (11:30～12:30) 氷ゾーンメルティング装置の開発とアニオンの分配挙動 (東工大理学院) ○屋嶋 悠河・原田 誠・岡田 哲男

Y3014 (11:30～12:30) 同一平面上に存在する複数の膜電位振動系の伝播と同期の様式 (京工織大院工芸科学¹・京工織大工芸科学²) ○筒井 美結¹・伊東 拓¹・道川 佳世子²・吉田 裕美¹・前田 耕治¹

【 Y (フロア2) 会場 】

第1日 (9月22日)

Y1015 (11:30～12:30) セルロースナノファイバを用いた破れない金箔による汗成分の計測 (阪府大院工) ○松井 響平・保田 聖二・定永 靖宗・椎木 弘

Y1016 (11:30～12:30) レゾルシノールの酸化に伴う還元力再獲得反応の解析 (神戸大院海事科学¹・徳島院理工²) ○菅野 宙依¹・松本 健嗣¹・堀田 航平¹・堀田 弘樹¹・桑原 知彦²・橋本 陸央²・水口 仁志²

Y1017 (11:30～12:30) 水系ウレタンポリマー膜による電気化学測定時の妨害物質除去効果 (埼玉工業大学¹・第一工業製薬²) ○平井 優吾¹・丹羽 修¹・浅井 千穂²・高村 直宏²・竹田 勝紀²

Y1018 (11:30～12:30) トラックエッチ膜フィルター電極を用いる積層型アプタセンサーの開発とトロンピンおよびリゾチームの同時検出への応用 (徳島大院理工¹・山形大院理工²・野村 マイクロサイエンス³) ○朝桐 佑記¹・小林 美咲¹・眞野 翼¹・谷渕 諒一¹・酒卷 武史¹・吉川 直人^{1,2}・木島 龍朗²・飯山 真充³・高柳 俊夫¹・水口 仁志¹

Y1019 (11:30～12:30) 遷移金属導入タンゲスト硫酸錯体の電気化学的酸化還元に及ぼす有機分子の効果 (高知大院総合人間自然科学¹・高知大農林海洋²) ○山崎 直輝¹・東 慎也¹・江口 洋平¹・小河 脩平²・上田 忠治²

- Y1020 (11:30 ~ 12:30) トウモロコシの葉緑体を用いた光応答電流におよぼす有害物質の影響 (龍谷大先端理工¹・龍谷大農²) ○田中 勇毅¹・横山 健吾¹・本村 恵人¹・古本 強²・糟野 潤¹
- Y1021 (11:30 ~ 12:30) グラッシーカーボン電極を用いたヒ酸の電気化学分析 (龍谷大先端理工) ○横尾 和希・増田 海星・糟野 潤
- Y1022 (11:30 ~ 12:30) トラックエッチ膜フィルターを用いるHPLC-二重電極検出-フェノール系化合物の捕捉率について-(徳島大院理工¹・神戸大院海事²・野村マイクロサイエンス³) ○橋本 陸央¹・桑原 知彦¹・松本 健嗣²・堀田 弘樹²・飯山 真充³・高柳 俊夫¹・水口 仁志¹
- Y1023 (11:30 ~ 12:30) 光アンテナ型人工抗体による食中毒菌の可視化と定量法の開発 (阪府大院工) ○田邊 壮・池田 光・定永 靖宗・椎木 弘
- Y1024 (11:30 ~ 12:30) 銀イオン応答性色素液体の開発と高感度・高選択的オプティカルセンサーへの応用 (阪府大院工) ○岡 嵩人・末吉 健志・遠藤 達郎・久本 秀明
- Y1025 (11:30 ~ 12:30) 合金等表面のスズ検出用タッチテストデバイスの開発 (長岡技科大) ○木菱 隆志・梶原 雅・高橋 由紀子
- Y1026 (11:30 ~ 12:30) アニオン性熱応答性高分子をプローブとした塩基性アミノ酸の選択的検出 (宇都宮大工) ○保田 あさ陽・上原 伸夫・稲川 有徳
- Y1027 (11:30 ~ 12:30) FRET型蛍光色素液体ナノエマルジョンの応答機構の基礎検討 (阪府大院工) ○小泉 有右・水田 巽・末吉 健志・遠藤 達郎・久本 秀明
- Y1028 (11:30 ~ 12:30) アプタマー修飾単層マイクロ酸化グラフェンの作製法とバイオセンサ応用 (中大院理工) ○野的 拓也・上野 祐子
- Y1112 (13:30 ~ 14:30) 共焦点三次元蛍光X線分析法によるプラスチック材料の劣化状況の可視化 (阪市大院工¹・KRI²) ○淵田 知希¹・松山 嗣史¹・瀧本 雄毅²・本間 秀和²・辻 幸一¹
- Y1113 (13:30 ~ 14:30) 全反射蛍光X線分析による塩水中無機元素の高感度分析を目指した試料準備法の開発 (阪市大院工) ○岡林 漠・松山 嗣史・辻 幸一
- Y1114 (13:30 ~ 14:30) 酸化グラフェンを利用した液体中微量ウランの蛍光X線分析 (東邦大¹・量研²) ○上床 哲明^{1,2}・酒井 康弘¹・吉井 裕²
- Y1115 (13:30 ~ 14:30) 電位の切り替えに基づく溶液のpH制御~パラジウム系水素吸蔵合金の評価~ (名工大院工) ○渡辺 紘平・藤田 未希・安井 孝志
- Y1116 (13:30 ~ 14:30) イオンイメージセンサを用いた1粒のキレート樹脂のCa²⁺吸収特性評価 (豊橋技科大) ○鈴木 和月・森下一樹・加藤 亮・澤田 和明・服部 敏明
- Y1117 (13:30 ~ 14:30) 硝酸イオンおよび亜硝酸イオンの電気化学的定量法の開発 (京大院農) ○北尾 虎太郎・宋和 慶盛・北隅 優希・白井 理
- Y1118 (13:30 ~ 14:30) 非接触型参照電極による作用電極の電位制御の検討 (日大院生産工¹・日大生産工²) ○柳川 輝¹・中釜 達朗²・齊藤 和憲²
- Y1119 (13:30 ~ 14:30) アルコール酸化に向けたニッケルナノ粒子修飾含窒素カーボン薄膜電極の開発 (埼玉工大院工¹・愛媛大工²・産総研³) ○高橋 将太¹・黒島 大雅¹・芝 駿介²・加藤 大³・鎌田 智之³・丹羽 修¹
- Y1120 (13:30 ~ 14:30) テトラフェニルアンチモン(V)による水酸化物イオンの油水界面促進移動反応 (福井県大院生物資源) ○沢崎 雄登・坂江 広基・植松 宏平・片野 肇

第2日 (9月23日)

- Y2009 (11:30 ~ 12:30) Anthracene架橋のジボロン酸とD-グルコースの反応における反応活性種の特異性 (早大院先進理工¹・上智大理工²・千葉工大³・甲南大理工⁴・愛教大教育⁵) ○田中 玲衣¹・鈴木 陽太²・菅谷 知明³・岩月 聡史⁴・稲毛 正彦⁵・石原 浩二¹
- Y2010 (11:30 ~ 12:30) 金属イオン錯形成により架橋する新規均一網目ゲル電解質の開発 (山口大院創成科学) ○高野 沙織・藤井 健太
- Y2011 (11:30 ~ 12:30) 均一な高分子網目構造を有するNa電池用全固体電解質の開発: 網目形成反応および力学特性の定量解析 (山口大工¹・山口大院創成科学²) ○加藤 亜蘭¹・池田 奈美恵²・大杉 菜由²・藤井 健太²
- Y2012 (11:30 ~ 12:30) ICP-MSによる海水中微量金属元素の網羅的定量を可能にするキレート固相抽出と水酸化鉄共沈を用いる逐次的ハイブリット脱塩濃縮法の開発 (麻布大院環境保健¹・麻布大生命環境²) ○岡田 浩太郎¹・中野 和彦²・伊藤 彰英²
- Y2013 (11:30 ~ 12:30) 簡便・安全な血清薬物試料の除タンパクを可能にする温度応答性スピнкаラムの開発 (慶大院薬¹・慶大薬²) ○井上 正和¹・石澤 佑太²・金澤 秀子¹・長瀬 健一¹
- Y2014 (11:30 ~ 12:30) オクラトキシンAに対するペプチド型人工抗体の作成 (中部大応生¹・ミュンヘン大²) ○岡平 桃葉¹・大和 直樹¹・熊谷 憲明¹・小坂 悟¹・山本 良平¹・山本 敦¹・山本 雅納²
- Y2015 (11:30 ~ 12:30) 吸着等温測定及び熱力学的解析による炭素材料に対するポリベンズイミダゾール吸着挙動の解明 (九大院工¹・WPI-I2CNER²・九大CMS³) ○嘉陽 奈々¹・田中 直樹^{1,2}・藤ヶ谷 剛彦^{1,2,3}
- Y2016 (11:30 ~ 12:30) 水によるpH緩衝作用 (東工大理学院) ○片岡 駿・原田 誠・岡田 哲男
- Y2017 (11:30 ~ 12:30) ゼータ電位計による粒子表面上タンパク質の定量 (筑波大院数理物質¹・筑波大数理物質²) ○萩谷 健太¹・宮川 晃尚²・長友 重紀²・中谷 清治²
- Y2018 (11:30 ~ 12:30) BSAゲル被覆メソポーラスシリカナノ粒子を用いたセラノティクスシステムの開発 (茨城大量子線科学) ○篠田 英駿・山口 央
- Y2019 (11:30 ~ 12:30) 海洋における硝酸塩の現場分析方法の検討 (高知大院農林海洋科学¹・高知大²) ○宮本 洋好¹・岡村 慶²・野口 拓郎²・八田 万有美²
- Y2020 (11:30 ~ 12:30) 大気沈着物中のイソプレン起源テトラロール類の分析: BSOA主成分の解明 (熊本大院自然¹・熊本大院先端²・千葉大院薬³・早大院創造理工⁴) ○永富 加奈子¹・榊原 邦央¹・大平 慎一²・石川 勇人³・大河内 博⁴・戸田 敬²

第3日 (9月24日)

- Y3015 (11:30 ~ 12:30) 高周波超音波を利用した金ナノ粒子合成: 無機塩・無機酸化物微粒子添加の効果 (山口大学院創成科学) ○青野 可世子・安達 健太

- Y3016 (11:30～12:30) 金属ナノ粒子固定マイクロプレートを用いた細菌の高感度検出(阪府大院工) ○板垣 賢広・松井 馨平・西井 成樹・定永 靖宗・椎木 弘
- Y3017 (11:30～12:30) 大気中ニトロフェノール類の日内濃度推移および気相/粒子相間の分配の解明(熊本大院自然¹・熊本大理²・熊本大院先端³) ○榊原 邦央¹・栗山 元気²・遠山 大貴²・大平 慎一³・戸田 敬³
- Y3018 (11:30～12:30) 河川底泥中有機酸の金属結合平衡解析(佐賀大学大学院理工学児玉宏樹研) ○吉田 陸・児玉 宏樹・三宅 逸暉・福山 雅貴・Yuuta Torigoe
- Y3019 (11:30～12:30) ヒドロキシアパタイトを用いた水田土壌中ヒ素不溶化技術の開発(鹿児島大院理工) ○古賀 朝陽・園田 拓哉・徳満 敦哉・高梨 啓和・中島 常德
- Y3020 (11:30～12:30) 加熱気化法を用いた環境試料中の水銀濃度の時系列解析(関西学院大理工) ○井上 佑華・谷水 雅治
- Y3021 (11:30～12:30) 硝酸メチルの測定法開発(鹿児島大院理工) ○杉原 健太・児玉谷 仁・神崎 亮・富安 卓滋
- Y3022 (11:30～12:30) 分散微粒子抽出法(8) - 海水に適用可能なオンサイトCOD画像測色法の開発 - (富山大学院理工(理)¹・明治大学理工²) ○川畑 美佳¹・小瀨 望¹・岡崎 琢也²・佐澤 和人¹・波多 宣子¹・倉光 英樹¹・田口 茂¹
- Y3023 (11:30～12:30) 高濃度メタノール下での酸化チタンによる水素生成活性(三重大院工¹・三重大国際環境教育研究セ²) ○高井 祐汰¹・古川 真衣¹・勝又 英之¹・立石 一希²・金子 聡¹
- Y3024 (11:30～12:30) Cu₇S₄/CdS光触媒の紫外光による水素生成研究(三重大院工¹・三重大国際環境教育研究セ²) ○小林 巧実¹・立石 一希²・勝又 英之¹・古川 真衣¹・金子 聡^{1,2}
- Y3025 (11:30～12:30) DMF水溶液を触媒に用いるソルボサーマル法で合成したCu修飾亜鉛系光触媒による可視光水素生成(三重大院工¹・三重大国際環境教育研究セ²) ○川口 悟志¹・勝又 英之¹・立石 一希²・古川 真衣¹・金子 聡¹

【 Y (フロア3) 会場 】

第1日(9月22日)

- Y1029 (11:30～12:30) 金蒸着ガラス棒SPRセンサーにおける金表面のアニーリングによる経時変化の低減(鹿児島大院理工¹・山本金属製作所²) ○佐藤 亜星¹・満塩 勝¹・今村 彰宏¹・吉留 俊史¹・林 秀樹²・山内 貴行²・新堂 正俊²・肥後 盛秀²・山本 憲吾²
- Y1030 (11:30～12:30) 毛髪の水およびVOC吸着特性(神奈川大理¹・ウテナ²) ○山田 絵里加¹・影島 一己²・西本 右子¹
- Y1031 (11:30～12:30) 2つのメチル基を有するSudan Iのアルキル誘導体アゾ化合物の熱挙動の解析(東理大理) ○増原 寛文・日比 友貴絵・本田 暁紀・宮村 一夫
- Y1032 (11:30～12:30) アルキル基を導入したフラボノイド誘導体及び混合系の熱挙動解析(東理大理) ○越川 恵介・河合 将斗・本田 暁紀・宮村 一夫
- Y1033 (11:30～12:30) レーザー脱離イオン化法を用いた尿中スポーツドーピング薬の測定に関する研究(東洋大院理工) ○村田 龍平・許 家瑋・藤野 竜也
- Y1034 (11:30～12:30) 超臨界二酸化炭素を移動相としたプロトン移動反応イオン化質量分析による難揮発性・脂溶性化合物の高感度分析(関西大院理工¹・阪大理²・阪大リノ³) ○太田 千尋¹・本堂 敏信²・三宅 ゆみ²・古谷 浩志³・豊田 岐聡²
- Y1035 (11:30～12:30) 遷移金属錯形成を用いた高効率レーザーイオン化法の開発(東洋大院理工) ○堀越 俊樹・許 家瑋・藤野 竜也
- Y1036 (11:30～12:30) レーザーアブレーション試料導入法と大気圧プラズマイオン化法を組み合わせた有機分子のイメージング法の開発(東大理¹・バイオクロマト²・ユーロフィン³) ○Hui Hsin Khoo¹・島田 治男²・宮原 秀一¹・金森 貴宏³・一戸 佳祐³・平田 岳史¹
- Y1037 (11:30～12:30) 走査型プローブエレクトロスプレーイオン化質量分析法を用いた脂質分布情報計測の溶媒選択性(阪大理¹・阪大工²) ○大手 虹歩¹・大塚 洋一¹・新聞 秀一²・豊田 岐聡¹
- Y1038 (11:30～12:30) PDMS製マイクロ流体チップの特性を活かした外部ポンプフリーなドロップレット調製法(同志社大院理工) ○太田 和孝・橋本 雅彦
- Y1039 (11:30～12:30) 1分子制御化学のためのアトリットル液滴の作製と評価(阪府大院工¹・JST さきがけ²・阪府大NanoSquare研³) ○小林 丈¹・許 岩^{1,2,3}
- Y1121 (13:30～14:30) 電気化学-局在表面プラズモン共鳴を利用したニードル型光ファイバーセンサーの開発(富山大院理工(理)¹・明治大理工²・富山大水素研³・前橋工科大⁴) ○松浦 匠真¹・花森 慎之介¹・岡崎 琢也²・佐澤 和人¹・田口 明³・菅原 一晴⁴・倉光 英樹¹
- Y1122 (13:30～14:30) 化学浴析出法にて直接成長させたZnOの損失モード共鳴に基づく光ファイバーセンサーの開発(明治大理工¹・富山大院理工(理)²) ○吉岡 昌紀¹・岡崎 琢也¹・我田 元¹・倉光 英樹²・渡邊 友亮¹
- Y1123 (13:30～14:30) Wettability Detection by Using the Reflection Property of Metallic Mesh with Different Structural Parameters(京大院農) ○Ziwei Zheng・Tetsuhito Suzuki・Yuichi Ogawa・Naoshi Kondo
- Y1124 (13:30～14:30) リグニン分解菌によるプロトカテク酸取り込みの電気化学的検出時における電極表面汚染の評価(長岡技術科学大学) ○寺牛 鍊・桑原 敬司・近藤 みずき・上村 直史・政井 英司
- Y1125 (13:30～14:30) クラウンエーテル配位子を有するシクロメタレート型発光性Ir(III)錯体による金属イオン認識(早大院先進理工¹・上智大理工²・千葉工大³) ○今西 郁巳¹・鈴木 陽太^{1,2}・廣岡 晴嗣¹・菅谷 知明³・石原 浩二¹
- Y1126 (13:30～14:30) マイクロ流体紙基板分析デバイス(μ PADs)におけるpH応答性高分子を用いたフロー制御システム(慶大院理工) ○西本 萌恵・富室 広介・前島 健人・井上 歩美・蛭田 勇樹・Citterio, Daniel
- Y1127 (13:30～14:30) 分子インプリントヒドロゲルを用いた凝集誘起発光検出法の開発(京大院工¹・京大院薬²・医薬基盤研³) ○二瓶 太一¹・金尾 英佑^{2,3}・久保 拓也¹・大塚 浩二¹
- Y1128 (13:30～14:30) 有機リン農薬のレーザー脱離質量イオン化法による高効率検出への試み(東洋大院理工) ○森田 哲耶・許 家瑋・藤野 竜也

Y1129 (13:30～14:30) 酸化亜鉛ナノワイヤを用いた表面支援レーザー脱離イオン化質量分析における検出特性の調査 (東葉大生命¹・名大院工²) ○石田 千晶¹・渡邊 未峰¹・近藤 啓太¹・青木 元秀¹・熊田 英峰¹・内田 達也¹・嶋田 泰佑²・安井 隆雄²・梅村 知也¹

Y1130 (13:30～14:30) ホスホン酸誘導体化試薬による酸化亜鉛ナノワイヤプレート表面の化学修飾が及ぼす脱離・イオン化能への影響の調査 (東葉大生命¹・名大院工²) ○近藤 啓太¹・石田 千晶¹・渡邊 未峰¹・青木 元秀¹・熊田 英峰¹・内田 達也¹・嶋田 泰佑²・安井 隆雄²・梅村 知也¹

Y1131 (13:30～14:30) 磁場中ガルバニ置換反応によるナノ構造デザイン基板を用いたSALDI-MSの高感度化 (名工大院工) ○稲本 皓己・飯國 良規・大谷 肇

Y1132 (13:30～14:30) 誘導体化LC-MS/MSによるD, L-アミノ酸の超高速一斉分析 (静岡県大薬¹・味の素バイオ・ファイン研²) ○LUUHONG, QU¹・磯部 亮太¹・杉山 栄二¹・唐川 幸聖²・原田 真志²・水野 初¹・中山 聡²・轟木 堅一郎¹

Y1133 (13:30～14:30) 誘導体化による1細胞内代謝物の高感度質量分析法の開発 (静岡県大薬¹・横河電機²) ○西島 公佳¹・竹内 大輝¹・加藤 良浩¹・水野 初¹・工藤 忍²・杉山 栄二¹・轟木 堅一郎¹

第2日 (9月23日)

Y2021 (11:30～12:30) 摩周湖表層水および周辺積雪中のマイクロプラスチックのラムダ測定 (北見工大院工¹・北見工大²・国立環境研³・道総研⁴・北大院工⁵・南山大⁶・北大院環境科学⁷) ○加藤 那央也¹・木田 真人²・坂上 寛敏²・南 尚嗣²・田中 敦³・五十嵐 聖貴⁴・深澤 達矢⁵・大八木 英夫⁶・神 和夫⁷

Y2022 (11:30～12:30) 都市ごみ焼却飛灰中放射性セシウムの水洗浄及び洗浄液の分析 (明大院理工¹・明大理工²) ○加世田 大雅¹・秋野 友香¹・小池 裕也²・小川 熟人²

Y2023 (11:30～12:30) 日本近海の海洋生物に濃縮されるヒ素の由来 (東京海洋大院) ○山崎 衣莉・土屋 光太郎・田中 美穂

Y2024 (11:30～12:30) イオンクロマトグラフィーによる河川域の無機態および有機態ヨウ素の定量と季節変動についての調査 (広島大院統合生命¹・海水評価技術研²) ○梅田 誉史¹・竹田 一彦¹・岩本 洋子¹・伊藤 一明²

Y2025 (11:30～12:30) 石炭灰中でのセレン置換型ヒドロキシアパタイト生成におけるリン添加量の影響 (鹿児島大院理工) ○中島 瞭太・園田 拓哉・古賀 朝陽・高梨 啓和・中島 常憲

Y2026 (11:30～12:30) MoやWのヘテロポリ酸の多量体化の機構 (東京海洋大院 海洋科学技術研究科) ○大須賀 優里・田中 美穂

Y2027 (11:30～12:30) イオン状シリカのための紙基板比色分析デバイス (慶大院理工¹・三菱重工業総研化学研第三研²・三菱重工業総研化学研第一研³) ○小川 真実¹・加登 絢¹・志戸本 さつき²・松原 龍一²・大塚 瑞希³・澤津橋 徹哉³・蛭田 勇樹¹・Citterio Daniel¹

Y2028 (11:30～12:30) 画像解析による凍結濃縮溶液への鉄の溶解挙動の可視化 (宇都宮大工) ○前田 美波・上原 伸夫・稲川 有徳

Y2029 (11:30～12:30) Cu/graphene/C電極によるメタノール溶液中のCO₂の電気化学的還元 (三重大学院工¹・国際環境教育研究セ²) ○阪 祐治¹・古川 真衣¹・立石 一希²・勝又 英之¹・金子 聡¹²

Y2030 (11:30～12:30) アイソタイプヘテロ接合を有する炭素環修飾グラファイト状窒化炭素の光触媒の可視光水素生成活性の向上 (三重大院工¹・三重国際環境教育研究セ²) ○佐藤 元紀¹・勝又 英之¹・立石 一希²・古川 真衣¹・金子 聡¹

Y2031 (11:30～12:30) 高分子ハイドロゲルによる有機ハロゲン化合物センサーの創製 (弘前大院理工) 須田 尚季・竹浪 鷹秀・○呉羽 拓真

Y2032 (11:30～12:30) PEGを含有するメチルセルロースヒドロゲルに対する塩の影響-硝酸塩と塩化物塩の比較- (神奈川大理) ○左古 有美香・芹澤 咲耶・西本 右子

第3日 (9月24日)

Y3026 (11:30～12:30) アルケニルコハク酸水溶液の相転移及び水の状態に対するアミノ酸添加の影響 (神奈川大理¹・ウテナ²) ○芹澤 咲耶¹・左古 有美香¹・藤ヶ崎 礼夏²・影島 一己²・西本 右子¹

Y3027 (11:30～12:30) プロトン核磁気緩和時間を用いた異種結晶構造を持つPVDFの評価法の検討 (阪工大工¹・兵庫県大院工²) ○今野 徹祥¹・浦濱 圭彬²・平原 将也¹・藤森 啓一¹・森内 隆代¹

Y3028 (11:30～12:30) 酸素フラスコ燃焼法とデジタル画像解析を組み合わせた食品中ヒ素の簡易分析法の開発 (鹿児島大院理工) ○山下一青・高梨 啓和・中島 常憲

Y3029 (11:30～12:30) ネオニコチノイド系農薬の捕捉を目的とした挟み込み型官能基を有する特異的吸着剤の開発 (中部大応生¹・食品分析開発センター SUNATEC²・東北緑化環境保全³) ○小出 高羅¹・小久保 翠月¹・中森 豪大¹・林 義貴¹³・藤吉 智治²・菊川 浩史¹²・山本 敦¹

Y3030 (11:30～12:30) 生体内の流れ刺激を模倣したマイクロ糸球体モデル開発のための培養条件の検討 (群馬大院理工¹・群馬大院医²) ○毛利 真桜¹・高橋 拓巳¹・小林 靖子²・佐藤 記一¹

Y3031 (11:30～12:30) 酸素濃度勾配を有するマイクロ肝類洞モデルの開発 (群馬大院理工) ○赤石 順哉・佐藤 記一

Y3032 (11:30～12:30) 急性単球性白血病由来細胞検出のためのペプチド-スクリーンプリント電極の構築 (前橋工科大院工¹・前橋工科大工²・富山大院理³) ○小平 景人¹・門屋 利彦²・倉光 英樹³・菅原 一晴²

Y3033 (11:30～12:30) Au-S結合によってDNAを修飾した金ナノ粒子誘導体の長期保存における安定性の評価 (筑波大院数理) ○十字 祥太郎・大石 基

Y3034 (11:30～12:30) マイクロウェルデバイス内での異種細胞の電氣的融合に向けた電極レイアウトの最適化 (兵庫県大院物質理¹・三重大院工²) ○小野原 郁海¹・鈴木 雅登¹・磯崎 勇志²・湊元 幹太²・富田 昌弘²・安川 智之¹

Y3035 (11:30～12:30) ペプチド核酸/タンパク質酵素ハイブリット分子-PNAzymeの合成とバイオ分析への応用 (九大院工) ○小林 諒祐・中野 幸二・石松 亮一

【 Y (フロア4) 会場 】

第1日 (9月22日)

Y1040 (11:30～12:30) 流路末端に生成する液滴を光学セルとして用いる吸光度検出法の開発 (徳島大薬¹・徳島大院医歯薬²) ○田島 歩未¹・竹内 政樹¹²・田中 秀治¹²

- Y1041 (11:30 ~ 12:30) フローインジェクション分析による紫外線照射下での光分解反応速度差に基づく遊離塩素と結合塩素の分別定量 (徳島大院理工¹・野村マイクロサイエンス²) ○北條 三奈¹・河野 俊貴¹・棚田 智大¹・飯山 真充²・高柳 俊夫¹・水口 仁志¹
- Y1042 (11:30 ~ 12:30) 空気中のフタル酸エステル類の粒径別分析およびその応用 (日大院理工) ○渡邊 瞬・吉川 賢治
- Y1043 (11:30 ~ 12:30) イソチオシアネート化合物分析のためのアミン類との反応解析および新規ラベル化合物の合成 (豊橋技科大院工¹・豊橋技科大教研基セ²) ○竹内 優哉¹・加藤 亮²・服部 敏明¹
- Y1044 (11:30 ~ 12:30) キレーションイオンクロマトグラフィー用固定相の開発～固定化配位子の鑄型特性に及ぼす温度の影響～ (名工大院工¹・名工大工²) ○猪本 奈那¹・稲垣 元子²・樋田 昌絵²・安井 孝志¹
- Y1045 (11:30 ~ 12:30) 水素化ケイ素置換型C18カラムの評価～塩基性化合物の保持におけるSi-H基の効果～ (名工大院工) ○矢頭 美祐乃・安井 孝志
- Y1046 (11:30 ~ 12:30) プロピレンカーボネート含有移動相を用いた環境調和型液体クロマトグラフィーにおける非ステロイド抗炎症薬の保持挙動 (日大院生産工¹・日大生産工²) ○大南 樹生¹・齊藤 和憲²・山根 庸平²・中釜 達朗²
- Y1047 (11:30 ~ 12:30) ベンジルエステル誘導体化による生体内短鎖脂肪酸GC/MS分析法の構築 (東薬大院) ○渋谷 陽子・林 菜那・熊田 英峰・梅村 知也
- Y1048 (11:30 ~ 12:30) 質量分析・触媒分解FIDガスクロマトグラフィーによる大気中長鎖カルボニル化合物の定性・定量分析 (熊本大院自然¹・熊本大院先端²) ○小野 智哉¹・佐伯 健太郎¹・碓 和也¹・大平 慎一²・戸田 敬²
- Y1049 (11:30 ~ 12:30) Michael付加反応を利用したGC/MSによる全血中硫化物の分析 (九州大院システム生命¹・福岡県警科捜研²) ○白木 亮輔^{1,2}・岡崎 英彦²・脇川 憲吾²・毛利 和子²・原口 慎吾²・森田 潤一²・小川 晋²・波佐間 裕太²・井本 裕樹²・古里 優衣²・合田 明永²・片山 佳樹¹
- Y1134 (13:30 ~ 14:30) 固定化不要な標的分子捕捉および高効率なDNA結合を利用したアプタマーの電気泳動選抜法 (阪府大院工) ○高尾 隼空・飛田 安梨沙・上野 楓・久本 秀明・遠藤 達郎・末吉 健志
- Y1135 (13:30 ~ 14:30) 磁路型グリッド電極を用いた磁気誘導泳動による微粒子のキャラクタリゼーション (名工大院工) ○海老名 美歩・飯國 良規・大谷 肇
- Y1136 (13:30 ~ 14:30) 液滴の動画撮影・RGB画像検出に基づくフロー分析法の開発 (徳島大薬¹・徳島大院薬²) ○谷口 朋代¹・森口 一平¹・竹内 政樹^{1,2}・田中 秀治^{1,2}
- Y1137 (13:30 ~ 14:30) アセチレンブラック修飾型トラックエッチ膜フィルター電極を用いる高感度尿酸センサーの開発 (徳島大院理工¹・台湾科技大²) ○藤木 壮磨¹・大石 昌嗣¹・高柳 俊夫¹・Zhan, Jun-De²・Yeh, Min-Hsin²・水口 仁志¹
- Y1138 (13:30 ~ 14:30) 超薄層クロマトグラフィーに最適な酸化亜鉛ナノワイヤプレートの検討 (東薬大生命¹・名大院工²) ○渡邊 未峰¹・石田 千晶¹・近藤 啓太¹・青木 元秀¹・熊田 英峰¹・内田 達也¹・嶋田 泰佑²・安井 隆雄²・梅村 知也¹
- Y1139 (13:30 ~ 14:30) 誘導体化LC/MS/MS法によるアミノ酪酸異性体全種の一斉分離分析法の開発と応用 (静岡県大院薬) ○仲村 茉緒・杉山 栄二・水野 初・轟木 堅一郎
- Y1140 (13:30 ~ 14:30) ZnOナノワイヤー導入キャピラリーカラムによるスクレオチドの選択的分離 (京大院工¹・京大院薬²・医薬基盤研³・東大院工⁴) ○中野 克哉¹・金尾 英佑^{2,3}・久保 拓也¹・大塚 浩二¹・細見 拓郎⁴・柳田 剛⁴・足立 淳^{2,3}・石濱 泰^{2,3}
- Y1141 (13:30 ~ 14:30) 非接触型参照電極による電位制御法を導入した電気化学クロマトグラフィーの検討 (日大院生産工¹・日大生産工²) ○増野 彰紀¹・朝本 紘充²・中釜 達朗²・齊藤 和憲²
- Y1142 (13:30 ~ 14:30) 新規分離基材を用いたイムノグロブリンのサブクラス分離 (京大院工¹・ケムコ²) ○望月 康生¹・久保 拓也¹・大塚 浩二¹・谷川 哲也^{1,2}
- Y1143 (13:30 ~ 14:30) GC-MSを用いた海水中のアミノポリカルボン酸系キレート剤の分析法の開発と都市河川から沿岸海域における分布調査への適用 (東薬大院¹・東薬大²) ○中谷 明日香¹・中嶋 樹乃²・関口 智仁²・熊田 英峰¹・梅村 知也¹
- Y1144 (13:30 ~ 14:30) ベンタフルオロベンジルエステル誘導体化-GC/MS法を用いたアミノ酸分析の高感度化に向けた基礎的な検討 (東薬大院) ○田中 杏奈・平野 沙恵・熊田 英峰・梅村 知也
- Y1145 (13:30 ~ 14:30) ベンゾイルロイコメチレンブルーを用いるレーザ誘起蛍光検出/キャピラリー電気泳動法による西洋わさび由来ペロオキシダーゼの酵素アッセイ (岡山大院自然) ○任 健超・金田 隆
- Y1146 (13:30 ~ 14:30) 汗中陰イオン分析用キャピラリー電気泳動用緩衝液の探索 (阪工大院¹・産総研先端フォトバイオ²) ○木原 巧貴^{1,2}・渡邊 紗裕美¹・森内 隆代¹・脇田 慎一²
- Y1147 (13:30 ~ 14:30) キャピラリー電気泳動分離法に基づくDNAメチル化検出法によるhTERT遺伝子断片のDNAメチル化検出 (福井大院工) ○志田 匠・木村 祐輝・高橋 透

第2日 (9月23日)

- Y2033 (11:30 ~ 12:30) 食品中残留農薬分析におけるダイナミックモード超高温水抽出法の適用 (茨大農) ○丸山 周平・多田 寛子・鎗田 孝
- Y2034 (11:30 ~ 12:30) モノ・ポリアミン類のHPLC/MS一斉分析法の検討と樹木花分析への応用 (熊本大院自然¹・熊本大院先端²) ○碓 和也¹・佐伯 健太郎¹・大平 慎一²・戸田 敬²
- Y2035 (11:30 ~ 12:30) ddPCR分析用のマイクロ流体カートリッジの開発 (同志社大院理工) ○山本 志将・橋本 雅彦
- Y2036 (11:30 ~ 12:30) CoFe₂O₄を利用する生体試料中のグルコース定量法の開発 (三重大院工¹・三重大国際環境教育研究セ²) ○柴田 舞子¹・勝又 英之¹・立石 一希²・古川 真衣¹・金子 聡¹
- Y2037 (11:30 ~ 12:30) 脂質固定化ビーズを用いた脂質特異的結合タンパク質の網羅的解析 (九大理) ○森藤 将之・木下 祥尚・松森 信明
- Y2038 (11:30 ~ 12:30) アセチルコリンエステラーゼを固定したアセチルコリン分解デバイスの評価 (豊橋技科大) ○山田 秋一・山井 裕斗・福興 泰志・澤田 和明・加藤 亮・服部 敏明

Y2039 (11:30～12:30) カチオン性ペプチドを基盤としたRNA 検出プローブの合成と機能評価 (東北大院理) ○鈴木 理志・佐藤 雄介・西澤 精一

Y2040 (11:30～12:30) 細胞接着性ペプチドリガンドと生体適合性高分子を用いた温度制御型細胞分離法の開発 (慶大院薬) ○島根 瑠霞・山田 創太・金澤 秀子・長瀬 健一

Y2041 (11:30～12:30) エクソソーム分離のための温度制御型アフィニティ精製法の開発 (慶大院薬) ○山崎 開智・前川 祐太郎・山田 創太・金澤 秀子・長瀬 健一

Y2042 (11:30～12:30) 人工粘液層をもつマイクロ小腸モデルの開発と透過性試験 (群馬大院理工) ○小嶋 永治・佐藤 記一

Y2043 (11:30～12:30) 血管網を有する三次元マイクロ筋組織構築のための共培養条件の検討 (群馬大院理工) ○箕浦 千穂・佐藤 記一

Y2044 (11:30～12:30) マイクロ腸管モデル開発に向けたマイクロデバイス内での腸上皮モデル細胞株と乳酸菌の共培養 (群馬大院理工) ○岡崎 美帆・佐藤 記一

第3日 (9月24日)

Y3036 (11:30～12:30) がんの早期診断を目指したフェロセン化ナフタレンジイミドによる電気化学的テロメラーゼアッセイの開発 (九工大院工) ○江口 奈央・金好 秀馬・佐藤 しのぶ・竹中 繁織

Y3037 (11:30～12:30) 次亜塩素酸ナトリウムによる大腸菌 (*Escherichia coli*) の膜損傷および抗体反応性の評価 (京大院農) ○東 健喜・鈴木 哲仁・白神 慧一郎・小川 雄一・近藤 直

Y3038 (11:30～12:30) スポンジモノリスを用いたSARS-CoV-2/Spike Proteinの選択的吸着 (京大院工¹・阪大微研²) ○石田 昂己¹・久保 拓也¹・南昌平²・小林 剛²・大塚 浩二¹

Y3039 (11:30～12:30) ピリジン-ピリミジン骨格に基づく低分子型カドミウム蛍光プローブの開発 (武庫川女大薬¹・医療イノベーション推進セ²・埼玉大院理工³・京大院薬⁴・神戸薬大⁵) ○原 史子¹・水山 奈央子²・藤野 毅³・佐治 英郎⁴・向 高弘⁵・萩森 政頼¹

Y3040 (11:30～12:30) オルガネラ特異的細胞内Mg²⁺レシオメトリック測定を見据えた近赤外蛍光プローブの合成研究 (慶大院理工) ○熊田 怜・坂間 亮浩・岩澤 尚子・新藤 豊・織岡 真理子・岡 浩太郎・Ctterio Daniel・蛭田 勇樹

Y3041 (11:30～12:30) 代謝物測定を目的とした信号表示型マイクロ流体紙基板分析デバイス (慶應義塾大学大学院) ○太田 瀬良・平岡 隆也・蛭田 勇樹・Citterio, Daniel

Y3042 (11:30～12:30) 直接試料導入タンデム質量分析計を用いた塗膜中有機顔料の位置異性体識別 (神奈川県警科捜研) ○居郷 孝泰・田代 徹・西部 浩一朗・阪柳 正隆

Y3043 (11:30～12:30) 微小透析法-キャピラリー HPLC-トラックエッチ膜フィルター電量検出装置の開発と脳内ドーパミンの *in situ* 測定 (徳島大院理工¹・徳島大院医歯薬²・野村マイクロサイエンス³) ○小川 起人¹・佐藤 采²・岩本 緋天²・笠原 二郎²・竹内 政樹²・飯山 真充³・高柳 俊夫¹・水口 仁志¹

Y3044 (11:30～12:30) イオンドライヤーが毛髪に与える効果の評価 (神戸大院海事科学¹・神戸大院イノベ²・大阪産技研³・日本 amway 合同会社⁴) ○佐藤 聡太郎¹・堀田 弘樹^{1,2}・中川 充³・懸橋 理枝³・戸塚 広乃⁴・日野 祥子⁴・辻野 義雄²

Y3045 (11:30～12:30) バックプロイン封入アルギン酸膜を固定化した試験紙を用いる銅イオンの簡易分析法の開発 (富山高専¹・福島高専²) ○立野 巧真¹・間中 淳¹・柴田 慶之¹・羽切 正英²